

KSKQ

第三種郵便物認可KSKQ (サロン・あべの) 通巻935号1994年10月15日

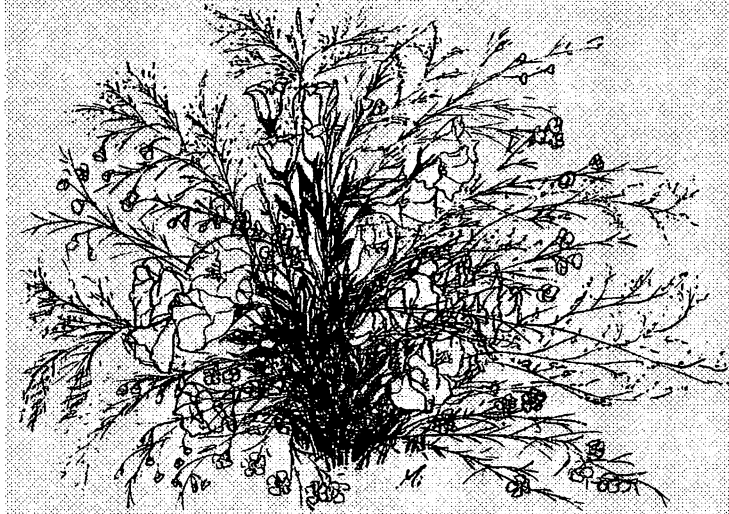
出合い ふれあい 助け合い

# サロンのあべの

Vol. 100

これが100号です

おかげさまで創刊からずっとおかげさまで無遅刻、無欠勤、早送りに100号まで発行してまいりました。ありがとうございます。



## おかげさまで一〇〇号



昭和六一年七月に手書きで、前月の△サロン▽活動報告をB5版で作り、それをコピーして次回の例会で、出席された方に手渡したのが、△サロン▽紙のはじまりでした。

あれから、歳月を重ねて今、△サロン▽紙は、お陰様で一〇〇号を迎えられました。

この間、編集長石田さんの入院が三回あり、△サロン▽紙としましては、大きなピンチもありましたが、原田さんを中心に他の委員方の協力で休刊することもなく、号を重ねて来られました。

△サロン▽活動や△サロン▽紙は、多くの方々のご協力ご支援をいただいて、今日を迎えられたと思いますが、△サロン▽活動に惜しめない熱意と協力を注いでくれる委員方が、おられればこそと思います。

内からの支えの力と、外からの励ましの言葉で、△サロン・あべの▽の今日があり△サロン▽紙の一〇〇号があるのだと考えますと、感謝の念でいっぱいです。

ほんとうに、ありがとうございました。これら、多くの出会いから受けた教えを反芻しながら、今後の△サロン▽活動をしていきたいと思っています。

今後ともどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

# 阿倍野郷土史

サロン・あべの9月の出会い

94年9月17日(土)、育徳コミュニティセンター研修室において、サロン・あべのの9月の出会いを開催した。

今月は、「阿倍野郷土史」というテーマで、阿倍野区名所旧跡顕彰会会長の猿田博氏にお話しをしていただいた。

## 阿倍野区の沿革

東成郡のいくつかの村を統合して、最初は住吉区の名称で、大正14年に大阪市に編入。昭和18年に阿倍野区、住吉区、東住吉区の3区に分割され、阿倍野区が誕生した。ちなみに、その後住吉区は現在の住吉区と住之江区に分かれ、東住吉区も、現在の東住吉区と平野区に分かれている。

## 阿倍野区の地形とその発展

阿倍野区は上町台地に位置し、海・山の幸が豊富であり、古代人の住居跡が発見されているこ

とからも、昔から栄えていたことが分かる。

奈良時代から平安時代にかけて大阪の地が開けた。京都から堺港への交通路にあたり、また、熊野街道沿いには、旅行者のための宿泊・休憩所として九十九の王子社(九十九は、数が多いという意味で使われていた)が設けられ、そこを中心に、阿倍野の地も発達した。

大阪は安土桃山時代から商都として栄えていた。明治から大正時代にかけては、天王寺村が急速に開けるが、阿倍野は王子神社沿いに30軒ほどの人家があるだけで、比較的さみしいところであった。しかし、大正時代に入ると、公立・私立の学校が設立され始め、現在のJR・近鉄等の鉄道交通の起点ともなり、文教地区、高級住宅地として、開発、発展してきたのである。

※住吉中学・阿倍野女学校(現府立住吉高校・阿倍野高校)、

市立大阪高等学校(現在の大阪市立大学で、阪南団地の場所にあった)、大谷女学校・明浄女学院・桃山中学(現在の高校)等数々の学校が建てられた。

## 阿倍野区の名所・旧跡

阿倍王子神社は、平安時代より「蟻の熊野詣」と言われるほど賑わった熊野詣のための、宿であり、遥拝所としての基点であった。旧地に現存する王子社としては、府下唯一のものである。

安倍晴明神社は、平安時代中期、一条天皇の命により創建されたといわれている。祭神は、安倍晴明。晴明は京に出て天文推算の陰陽道を修め、天文博士となり宮廷に仕えていた。占いが得意で、位の高い者からも一目置かれていた。

阿部野神社は、明治に入ってから、国が別格官幣大社として造営。後醍醐天皇の親政時代に南朝の忠臣として活躍した、

北畠親房・顕家の親子を祭っている。数年前のNHK大河ドラマ「太平記」では、後藤久美子が北畠顕家(花将軍)を演じていた。

海照山正圓寺。西方に海を望みできる地形から命名された。大聖歡喜天を本尊とし、「聖天さん」の名で親しまれている。

また、徒然草の作者として有名な吉田兼好(兼好法師)の「藁打ち石」と伝えられる石や、「吉田兼好法師隠棲庵址」の石碑が建っている。

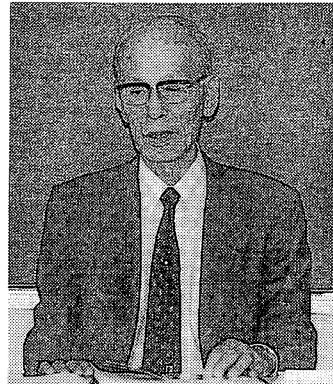
### 史跡保存こぼれ話

丸山聖天山は、丸山古墳の遺跡である。ここからは、土器や刀剣類が出土したと言われているが、現在は行方不明となっている。

阿倍野で一番新しく発見された遺跡が、年代的には一番古い遺跡である。古代人の縦穴式住居(ベッド遺構)が見付かった。

のであるが、その上には現在アベノファーストホテルが建っている。

北畠公園にある「経塚」も、元は民家の畑にあったもので、昭和4年の道路工事の際に現在



地に移された。この塚は、聖徳太子が諸経の文字を1石に1文字づつ書いて納めたとする説と、空海が疫病流行に際し1千部の薬師経を書写し、祈願して納めたとする説がある。

正圓寺にある「吉田兼好法師隠棲庵址」も、民家にあったものを現在地に移したものである。

道路(松虫通)拡張のためなくなってしまうところを、地元の要望で、逆に道路の方を20mずらして作ることで保存されたのが、「松虫塚」である。今ではこのカーブが、交通安全に役立っている。「松虫塚」の伝説も複数あり、虫の音に魅せられて死んだ友人を偲んで作られたという説と、後鳥羽上皇に愛された松虫・鈴虫の姉妹の局が、法然上人の話しを聞いて出家、

姉の松虫が庵を結んだところという説がある。

※昔の松虫は、今の鈴虫のことであり、反対に、鈴虫とは松虫のことであった。また、キリギリスはコオロギのことであった。

### その他

神社に残る名称からも分かるように、「あべの」は「安倍」

であったり、「阿倍」あるいは「阿部野」であったりと、昔から色々な漢字が使われていたが、昭和18年に阿倍野区ができた際に、「阿倍野」が採用されたことで、次第に統一され一般的になっていった。したがって、近鉄の駅名に残る「阿部野橋」も間違いではないのである。

阿倍野区には、織田作之助や伊東静雄といった作家の碑が建てられている。しかし、阿倍野に所縁の深い作家でありながら、梶井基次郎の碑は、まだ建っていない。

史跡や伝説が消えてしまわないよう顕彰し、保存を日頃から訴えていかなければならない。最後に、参加者全員が自己紹介を兼ねて、この日の感想や、質問をして9月のサロンは閉会した。

参加者34名。司会は富田慶子。

(上平幸雄)

# 郷土・阿倍野

我がふるさと「阿倍野」

私はこれまで、他の土地で生活をしたことがありません。また、遠く離れて長旅をしたこともありませんので、阿倍野の地を振り返って考えることもなく、その良さを確認することもありませんでした。でも、居心地の良い場所であることだけは、解っていました。

二十三年前に亡くなった祖母は、この地をたいそう気に入っていました。ここは、高台だし、水の心配は無いし、どこへ行くにも便利だし、欲しい物はいつでも豊富に揃っているし、学校も近いし、季節の花や木も身近にあり、気軽に散歩もできるし、町は静かで安全だし、近所の人とは気心が知れて付き合えるし等々、祖母からいつも聞かされてきました。しかし、どれも祖母の一人言のように思いながら聴いてました。ところが、このたび「阿倍野郷土史」を

伺って、古代人も、千年前の都人も、祖母と同じような気持ちを持って阿倍野の地に住んでいたことを知りました。

町の風貌は大きく変わってきましたが、古代人も住みごこちが良かったとの想いは私に「ふるさと」を実感させてくれました。

「ふるさと」は、遠きにおいて思うものではなく、地元において実感できる幸せを認識させていただいた出会いでもありました。(け)



なぜ弁当が走り、弁当が偉い？

石田 律

なつかしい阿倍野の話聞きながらむかしむかし唄ったしりとり唄を思い出した。子供のころ近所の神社が格好のたまり場だった。その境内に近所のカキどもがみな

よって、なにかワチャワチャやっているうちに、その中のだれか一人が「おとうちゃん、ダイヤモンド、こうてんか」と、やりだす。

これに答えて、他のガキどもが唄いだす。

♪ダイヤモンド高い／高いは通天閣／

通天閣怖い／怖いユレーン／

ユレーンは青い／青いはボンさん／

ボンさんは滑る／滑るは氷／

氷は白い／白いはうさぎ／うさぎは走る

走るはべんと／べんとは偉い／

偉いは学者／学者はできる／

できるはデンポ／デンポはうつる／

うつるは鏡……

その時は、このしりとり唄に出てくるべんとって一体何なのか、なぜべんが走りべんが偉いのか、なんの不思議もなく疑問もたないで聞こえたまま唄っていた。大分後になってからこれがべんと(弁当)でなしに、べっと(別当)だとわかった。

上町線がまだ、大阪馬車鉄道という名前で、馬が客車を引いて走っていたころ、馬を操る人を大阪の人はべっとと呼んでいたらしい。

祝 出会い一〇〇回・サロン紙一〇〇号



△サロン・あべのVを見守り、励ましてくださった皆さまから、温かいお言葉をいただきました。百十二人の声とお心が、今後の△サロンV活動に、新しい力と出会いの喜びを贈っていたいただいた気がします。ありがとうございます。

助け合いの社会を

秋野 富美子

△サロン・あべのV百回の出会い、本当におめでとうございます。

一口に百回といいますが、実に各方面の諸先生方、非常に広範囲に渡っての知識人との出会いを実現してこられた△サロンVの運営委員の皆様方、本当にご苦労様でございました。

高齢化社会は、本当に国全体が障害者社会になって行くことは間違いなく、みんなが手をたずさえて生き方を考えて行かねばならない時代だと思えます。

その時代にさきがけて、各方面の識者、先生方との出会い、ふれあいを実現し、対話の場を設けられる△サロン・あべのVの役員の皆様には、頭が下がります。

△サロンV紙で編集し、広報される皆様に心から感謝し、お礼申し上げます。

人生出会い、ふれあいは、実に多種多様ですがその悉く(ことごとく)を自己の人生の貴重な一ページとして素直に受け入れ、感謝し、泣いたり、笑ったりしながら自分の人生の血肉とし、知恵として生かして行

き、世界の平和を目指して助け合って行きたいと思います。

△サロンVの今後の益々のご発展を心よりお祈り致しまして、簡単ですが私の一言とさせていただきます。

△サロンVの不思議  
旭 純子

ほんの小さな出会いから始まった△サロン・あべのVが、たくさんの人の輪に支えられて、地域に根づきはじめています。

どんなに長くブランクがあっても、そこへ行けばいつもの仲間と、新しい出会いが待っている。△サロンVには、なぜか不思議にひきよせられる。

いつか出会いを…  
稲葉 理恵

△サロン・あべのV100号 おめでとうございます。いつも楽しく読ませていただいております。

△出会い々という言葉に心魅かれ、参加させていたどころかと、いつも思いながら実現していない私ですが、いつか 皆様と

お会いできるのを楽しみにしていますので、今後ステキな企画を重ねていって下さい。

よくぞ ここまで  
井上 憲一

よくぞ、ここまで続き  
されど まだまだ続く  
(新年会屋 恵ちゃん)

出会い ふれあい 暑い夏  
今 西 美奈子

障害者シンクロを初めて十年ちよつとになります。スポーツとは無縁と思っていたものが、水泳と出会って今は生きがいの一つになっています。京都でシンクロの全国大会が開かれるようになって三回目を迎えた今年は、八都府県からの参加がありました。そして、東京からの参加者の一人Nさんが、私の母校の光明養護学校の卒業生で、二十歳ほど若い後輩になる事がわかって大喜びしました。

ところで、その光明養護学校というのは一九三三年に日本に最初に来た肢体不自由児のための学校で、一九四五年には長野

県へ集団学童疎開もしています。その疎開の記録を昨年「信濃路はるか」という本にして出版したのですが、その出版の中心人物であるM先生は光明に勤務された事もあって、前記Nさんは教え子のひとりでした。

今夏、京都では全国障害者問題研究会の第二八回大会が開かれて、大会にかかわっておられるM先生が「信濃路はるか」の事で、私と話したいと言うS大学の障害児教

職員養成課程の学生さんと共に入浴されて、一方シンクロのコーチがこの大会の障害者の生きがい、文化とスポーツという分科会にレポートを出しておられたので私も参加し、大会終了後S大学の学生さん達と話しているうちに、彼女達がシンクロに関心を持ってくれて、帰京後にM先生を介してNさん達のシンクロメンバーと会う事になりました。

出会いの輪がこちらにつながり、こちらにつながりしてゆく楽しさを味わった夏でした。

出会い ふれあい 助け合いのサロンの益々の発展を心からお祈り致します。  
一九九四年八月十日記

〔文化の創造を

岩田 泰夫

出合い一〇〇回、△サロン▽紙一〇〇号、おめでどうございます。その継続に拍手です。

「継続は力なり」

「知識は新しいドアを開く鍵である」

「弱みを自覚すると、弱みは強さに変わる」

「ちがうことこそバンザイ」

などのことばは、患者会などのセルフヘルプグループが見つけた語録です。自分の体験を語り、仲間と分かち合って練り合わせ、洗練されて作り出されてきました。

どうか、今後も継続され、新しいことを生みだし、文化を創造してください。

(桃山学院大学 社会学部)



〔頑張りの積み重ね

上田 久美子

△サロン▽紙一〇〇号、おめでどうございます。

スタッフの皆さんの努力と頑張りの積み重ね、それが大きな大きな△サロン▽紙だと思えます。次回の△サロン▽紙を待っています。これからも、頑張って下さい。

〔一言

上田 敏

△サロン▽紙一〇〇号、おめでどうございます。

毎月、送って下さる△サロン▽紙を、楽しみにしています。これからも、二〇〇号、三〇〇号めざして、頑張って下さい。期待しています。

〔表現力

上平 幸雄

ほとんど毎月、△サロン・あべの▽紙に文章を書いておられますが、その表現力不足を、いつも嘆いておられます。

〔ガンバッテいます

植松 菊雄

今年二月に類焼により、住み慣れた阿倍野区から引越し、新しい住所に変わりましたが、暑さにめげずガンバッテいます。今は、ビデオ教室へ通うかたわら、家ではテレビのお守りをしています。



〔いくつかの思い出

馬越 郁栄

いつも△サロン▽紙の朗読テープを聴かせていただいで喜んでいきます。△サロン▽紙での思い出は、クリスマス集い参加で、故大島 功さんのサンタクロースさんとか、新年会のことなどいくつか残っています。時間が出来れば、また、参加させていたただきたいと思っています。



「これからも  
大植 美子」

「あいか彩子さん」の出会いの時ぐらい  
で私はあまり参加していませんが、これか  
ら楽しい企画のときには、ぜひ参加した  
いと思います。

これからも頑張ってください。

「温かい△サロンV  
大賀 由佳」

△サロンVの良さは、なんといっても温  
かいところだ。それは参加者すべてに伝染  
し、とどまるどころをしらない。

読まずにはいられないやさしくて温かい  
△サロンV紙も特徴的。だから一〇〇号記  
念は当然のお祝いなのだ。

「一〇〇〇人一語」に投稿する日はそう  
遠くなさそうだ。

「出会いの喜び  
大北 清子」

△サロンVに初めて参加したのは四年く  
らい前、小嶺さんの奥さんと一緒に出席さ  
せてもらったのが始まりです。その後、時

々出席させてもらっています。今では、毎  
月「来月は何かあるかしら」と主人と話し  
合、参加を楽しみにしています。

△サロンVに参加するようになって、お  
顔見知りの人が増えました。長居の身障者  
スポーツセンターへ行っても、どなたかに  
お会いして声かけをしたり、沢山の人が  
出会い・ふれあいの言葉にびったりの体験を  
させてもらっていると思います。この間も  
柿岡さんに「こんにちわ」と声をかけてい  
ただき嬉しいでした。



「魅力的な△サロンV  
大里 哲子」

私が阿倍野区の障害者の皆さんと初めて  
出会ったのは、数年前の一泊旅行が最初で  
した。その後、新年会に、又、△サロン・  
あべのVに出席させていただき、皆様の明  
るい笑顔、他者への思いやりある言動に私  
たちがややもすれば怠りがちな面が何気な  
く自然になされているのが魅力的でした。

そして、毎月送って下さる△サロンV紙  
では社会に対し、又自分に対してのきびし  
い洞察力、表現力のすばらしさにいろいろ  
と教えられております。

今後も何とか時間をつくって、皆様と共  
に行動をしたい、又△サロンV紙の愛読も  
続けて行きたいと願っておりますので、何  
卒よろしく願います。

「広がる出会い  
岡 賀寿子」

△サロンVのお集りでお逢いして、すて  
きな出会いをなさっている方が多いことと  
思いますが、私のように△サロンV紙だけ  
での出会いの方も、他にもいらっしゃる

思います。それも一つの出会いなのです。

私にとっては、大切な大切な出会いなのです。たくさんのお教えをいただいて感謝です。そこから、おもいがけず広がっていくふれあいは、私の人生にとってかけがえのない出会いです。

ありがとうございます。そして、これからもいつまでも、お仲間に入れて下さいね。



興味ある活動

岡井 淳治

出会い一〇〇回、△サロンV紙一〇〇号、おめでどうございます。

△サロンVのできた九年前、私はまだ高校二年生でした。それを考えると、この活動のすこさ、パワーを感じます。

最初は、仕事として△サロン・あべのVと出会ったのですが、個人的にも、とても興味のある活動でしたので、この出会いを

大変うれしく思います。

△サロン・あべのVとの出会いは、まだまだ浅いのですが、この出会いを大切にしたい、ながーいお付き合いをして行きたいと思えます。

これからもよろしくおねがいします。

朗読テープでの出会い

小野原 俊介

△サロンV紙百号、おめでどうございませう。毎月朗読テープで、貴会の活動を聴いて楽しませていただいています。

聞くところによりますと、毎年大阪府主催の広報紙コンクールで受賞されておられるとのこと、運営委員の皆様方のご努力の賜物と思えます。

これからも△サロン・あべのVのご発展をお祈り致しております。

光陰——私も…歳

加賀谷 正

月日の経つのは早いもので、もう一〇〇号に、私も…歳になりました。

今後も、皆さんよろしく願います。

一〇〇号記念を祝す

柿岡 忠

△サロン・あべのV紙、おめでどうございます。「継続は力なり」と申します。

今日まで続けたことは、スタッフの方々のお力と深くお喜び申し上げます。

障害者は、健常者の方々に良き理解をいただくためにも、△サロンV紙の存在に大きな意義があると存じます。

今後一〇〇号、三〇〇号と続いて行きますことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

好企画と発展を祝う

柿岡 緑

出会い一〇〇回、△サロンV紙一〇〇号、誠にありがとうございます。富田様をはじめグループの方々の和と優秀な企画により年毎に、いえ、月毎にご発展の一途でありますことを心よりお祝い申し上げます。

私共も、各方面へ連れて行っていただき、麻生夏代のシャンソンコンサート、とくに大阪ワークセンターでは、有意義な見学で、今も心に残っているのは、洋

裁の原型もすべて機械化されていることでした。たずさわる人々の研究努力により、世の中は目まぐるしく進歩しています。

我身と雑用に追われるごとく送日している自分に頑張れ！と励まされている気が致します。

増々のご繁栄を祈念申し上げます。

〔 伝わる楽しみ 〕

門上 伸也

△サロンV紙は、他の団体の機関誌に比べてもバツグンです。特に、岡さんや原田さんの文章が好きで、「何が言いたいのか」がはっきりとこちらに伝わってくるようです。毎月、送られて来るのを待つて楽しく読ませて貰っています。



〔 祝 △サロンV紙 金岡千恵 〕

△サロン・あべのV紙百号、おめでとうございます。

私も、年老いてなおいろいろな事を学んでいきたいと思えます。

毎月の△サロンV紙、ありがとうございます。ます。

〔 細く長く 〕

金沢 常世

百号、バンザイ！

これからも、細く長く頑張ってください。

〔 オアシス 〕

河合 恵子

△サロン・あべのVはクオアシス〃

湧き出す泉が 緑陰をつくり

行き交う人々が足を止めて憩うオアシス。

次々と生まれる企画に様々な人々が

集う△サロン・あべのVは、

私にとって大切なオアシス。

新たな出会いが ますます枝を広げ、

根を張っていきますように・・・

〔 △サロンVのよいところ 川田和子 〕

どんなサークルでも、長く続けていくうちに「ひとつの色」に染まっていきがちですが、「来る人拒まず、去る人追わず」の△サロンVの良いところをなくさないで、だれでもがひよこつと顔を出せるようなサークルであってほしいと思えます。

〔 百号にビックリ 〕

川西市在住の一愛読者

毎回、何号かを気にもとめず読んでいますが、改めて百号という数字に驚いています。何しろ川西という大阪から遠い所に住んでいて、バザーがあるとわかっていても気軽に参加できないのが残念です。

一筆箋は、友達へのプレゼント。もちろん私自身、重宝しています。

〔 僕の好きなもの 〕

菊地 健

僕の好きなもの・・・十日禁煙後のキヤメライトのいっづく、自分がコーディネイトしたみんなが楽しんだイベント、子供

と一緒に行くスライダーのあるプール、台風が過ぎたあとのフナがたくさんつれるピンボウ川、大声出して風呂で歌う「あの素晴らしい愛をもう一度」、日航機雄鷹山墜落後カラオケで歌う九ちゃんの「上を向いて歩こう」。

ハイキングに行つてバーナーで沸かしたお湯で食べるカップヌードル、十七年着たケントのジャケット、カモ柄の黄色のネクタイ、履き古して縫い直したワンスターコンバースのロウカットシューズ、ぼんたのマヨネーズたつぷりの豚玉、フルオープンで走るスーパージムニ550、学生時代下宿への帰り道に匂った金木犀、南街劇場で見た「いちご白書をもう一度」、泉谷しげるの「北の国からきた手紙」。

一〇一回目のプロポーズの「僕は死にまじせん」シーン、子供の頃のビニール袋に入れて土の中に埋めた宝物、こどもと一緒に点字を解読すること(まだ読めないのです)、子供と一緒に行く自然観察教室、手帳にはさんだ七〇歳になるスキースタイルのオヤジの写真、真っ青な空の日に突然自転車を出動すること、いろいろな種類のお風呂がある二九〇円の銭湯。

若松つつあんのおばあちゃんがくれたくだみ茶、夜店ですくって長生きしている金魚、ダックジャニエルのストリートシングル、千葉のからつき落花生、朝早く食べる水戸納豆、ナベごと食べるマルタイらーめん、万博スタジアムのサンフレッチェのサポーター、行ったことのない南港フリーマーケット。

書きだしたらまだまだ書き足りない・ひとつひとつ見ていくとかなり昔を大事にしているようである。もっと書いていくと自分史ができそうである。大事にしていきたい「僕の好きなもの」。

良かった話

北下 武博

いろいろ良かったことはあるけれど、特に大阪府立大学の定藤先生の講演と、リハビリについての澤田先生のお話が良かった。

出会うは、また会うの始めである

北野 誠一

長い旅路をたどつてこられたハサロン・あべのVの歴史的な一〇〇回目の会合に、お招きをあずかり光栄に思っています。

たいした話はできませんでしたが、私もまた自分の歩みと戦後の障害者運動の歩みと、障害者施策の歩みを自分なりに整理することができていい思い出となりました。気がつけば、障害者の人達とのおつきあひも二〇年を超えました。

私自身も、また顔見知りの人達も、少し年をとりました。二〇年前の、ひとつのこゝとしか考えることができなかった時に比べれば、随分とつきあひも考えもひろがりましたが、失ってしまったものもあるように思います。できる限り初心を忘れずに生きてゆけたらと思っています。

できれば、また呼んでください。今度は、みんなの意見をゆつくり聞かせていただきたいと思っています。

では、次の機会にまたゆつくりと。

(桃山学院大学社会福祉学科助教授)

損している不参加

木村 圭子

ハサロン・あべのV百回だそうで、スゴイですね。おめでとうございます。私が初めてハサロンVに寄せていただいた五、六年になるかと思っています。

ありがとうございます。

毎月、立派な先生方のお話にも知らな  
い私は、とても勉強になりました。また、  
いろいろな所に見学もさせていただき、本  
当にハサロン・あべのVを知ってよかつた  
と思います。たくさんの人たちと、ふれあ  
い・助け合い・出会いの大切さを実感しま  
した。

いつも思うのです。ハサロン・あべのV  
に行かないと損をする。なのに、主人が  
第三土曜日は会社が休みになり、用事が重  
なりずいぶん損をしております。主人が退  
職すれば、すばらしいハサロン・あべのV  
に共に参加させていただきたいと思ってお  
ります。その節は、よろしくお願い致しま  
す。委員の皆様、どうぞ、お元気でいつま  
でも活動なさってくださいる事を願ってお  
ります。



期待したい世の中

窪田新一

わたし

わたし あるいていますと  
小学生のこともが  
ちんば ちんばといつて  
あとをつけてきますの  
どこまでいっても  
つけてきます

いつまでたつても  
はやしつづけます

わたし

それがいちばん

つらいです

なにも わるいこと

していませんのに

(速水晃詩集 ことばを・こえを・そして

叫びを より)

この詩を読むと、胸が締めつけられる思  
いにかられます。この世に生を受けた以上  
は、いろいろな楽しい事や良い事を、たく  
さん期待してもいいのではないか。

「助け合い・慈しみ合い・育み合う」これ  
だけで世の中良くなるのではないだろうか。

がんばって

桑村成子

百号、おめでとございます。  
続けることに意義があると思います。  
これからも頑張ってください。

身近なハサロンV

神城昭子

ハサロン・あべのV紙一〇〇号、おめで  
とございます。

私は、三年くらい前からハサロンV紙の  
朗読テープを聴かせてもらっています。

テープを聴いていて感じることは、いつ  
も親しみが持て、岡さんや上平さんの名前  
を身近に感じさせてもらっていることです。

いつか、ハサロンVの出会いにも参加し  
たいと思っています。

「出会い ふれあい 助け合い」は、障  
害者にとって大事なことだなあと考えてい  
ます。



〔慈善と偽善〕

梶谷 終一

障害者の私が最近思うことがある。

それは、慈善者と偽善者のことである。

人は、いいことをやっているつもりでも

環境によっては偽善になったりするようである。特に、長年福祉のジャンルに身を置

いている人に見かける。それはとても悲し

いことだ。偽善者には、顕示欲の強い人が

多いとか。そんな人によつてかると障害者は

モロに利用されてしまう。実に困った存在

である。そうならない為には、障害者側にも

もしっかりした目を養い、人を見抜く力を

付け、そして、人に対し自決権を行使する

強い心を持つべきだ、と思う今日この頃で

ある。

いつかハサロンVへ

小 西 京 子

いつもハサロン・あべのV紙をお送り下さり、ありがとうございます。

一〇〇号記念誌の「百人一語」の原稿が

できませんでした。すみませんでした。

いつかハサロン・あべのVに伺いたいと思

います。

〔ハサロンV紙が百回目！〕

小 嶺 佐栄子

私がハサロンV紙に出会ったのは、何回

目だったのかしら？ そんなに長〜いハサ

ロンV紙だったのね。毎月送って下さって、

本当にありがとうございます。

皆さん、よく文章を書いておられるので

感心しております。私は、文章を書くのが

苦手なので恥ずかしいわ。でも、読むのは

大好きです。皆さんの文章を読んで、頑張

っているのだなあと感心しております。

ハサロンVの出会いには、時たましか行

けないのですが、皆さんとお会いすると楽

しいですね。都合がつきましたらハサロン

・あべのVの出会いに出席させてもらいま

す。その時はよろしくおねがいします。

ハサロン・あべのV紙百回目、おめでと

うございます。

これからもがんばって下さいね。

〔ハサロンV紙の隠れファン〕

近 藤 千枝子

五年前に木口さんからハサロンV紙を見

せていただいたて、ハサロンVに関心を持ち

ました。

それから三回ほど参加させていただきま

したが、なにぶんにも一人行動が出来ませ

るので、いつもはハサロンV紙を読んで楽

しませてもらっています。時々皆さんとお

話がしたくなって、電話で参加させてもら

いたなあと思ったりしています。

私は、隠れハサロンV紙ファンです。

今後のご発展をお祈りしています。

〔点からの広がり〕

秀 翠

出会い一〇〇回、ハサロンV紙一〇〇号、

誠におめでとうございます。

ハサロン・あべのV当初はホンの一部の

人の集まりの点に過ぎない状態で、手書き

のコピー刷りのお知らせで、何回まで続け

て行かれるかしら？…と、傍観させていた

だいてましたが、アレヨアレヨと出会いの

輪が広がり、何度か素晴らしい賞もいた

き、五〇回の特別号も発刊されました。

又、ハサロンV紙の内容も回を重ねるた

びに時代にマッチした記事となり、私ども

も今まで気がつかない事や、知らなかった

事を数々教えていただきました。

スタッフの皆様のご尽力は申すに及ばず

会員皆様のユニークな発想と結集の賜物、心からおよろこび申し上げます。

百回を契機に益々のご発展を、お祈り申し上げます。

〔ハサロン・あべのVとの出会い〕  
須賀 茂登子

あるうらかな春の午後、散歩していた私は、北畠で「カプリース」というリサイクルの洒落たお店をみつけました。そのお店の、試着コーナーにハサロン・あべのV紙が貼ってありました。「出会い ふれあい 助け合い」何と素敵に呼びかけでしょう！ 私が探していたモノ見つけた！ という心境でした。お店の方にお願ひして、壁にピンナップしてあったハサロン・あべのV紙をいただいて帰り、富田さんに突然、電話をして、五月の早川福祉会館の見学会に参加させていただき、そのひろがりとして現在、早川福祉会館で行われている朗読ボランティアの養成講座で学んでおります。障害を持った方々と共に生きる為に私にも何かすることがないかなと考えておりました折りに、一つの方向を示された思いであります。高齢化社会の今日、健康な者も



老齢になると身体が不自由になります。障害者が生活し易いように整えられた社会こそ、すべての人に生きやすい社会なのだと思っております。ハサロン・あべのVと出会わせてくださったカプリース（気まぐれ）さんの機関紙には、サロン寄席の感想を載せていただきました。

北野誠一先生の「障害者基本法」の学習会は、黒板を写してノートをとり、学生時代に返ったように興奮する時をもつことが出来ました。この学習会で強烈に印象に残ったのは、障害者の行き方を決めるのは障害者だと学んだことです。

福祉に携さわる者は、主体者は障害者自身だということを決して忘れてはならないと思いました。ハサロン・あべのVのお交わりに加えていただけること、本当にうれしく感謝しております。

〔ハサロンVは、大きな財産〕  
杉山 萬枝

ハサロンV紙一〇〇号おめでとうございます。ハサロンVは、お互いに交流を深めつつ、ともに語り、ともに学ぶという喜びを私に知らせてくれました。

親しい友との多くの嬉しい出会いも出来ましたし、私の生活そのものまで生氣ある明るいものにしてくれました。

ハサロンVを知ったという事は、私には大きな財産だと思っています。

出会い一〇〇回、ハサロンV紙一〇〇号、ハサロンV活動にがんばってこられた諸先輩に感謝しています。

〔ハサロンV継続の秘密は？〕  
鈴木 昭二

ハサロンV紙一〇〇号記念、おめでとうございます。サロン形式での出会いの場をもつて八年数ヶ月、先駆者として活動されたことは、大変な苦勞があったと思えます。これだけ長く続けられたのは、どうということなのか、考えてみました。

まず、第一に理念がしっかりしていることだと思えます。障害者と健常者の「出会い

い ふれあい 助け合い」を目的に、いろいろなテーマやレジャーを通じて人々の出会うの場をもつたことです。

二つ目に、テーマが多岐に渡るといこととです。

三つ目に、AサロンV紙が十分な読み応えのあるものであること。

四つ目として、富田様を中心に沢山のスタッフの方々のご努力であります。

これから、二〇〇号・三〇〇号と続けていかれることを期待しております。

わたしの区にも

関 幸子

一〇〇号、おめでとうございます。

わたしの住んでいる区にもボランティア・ビューローが開設されました。

阿倍野区が一番進んではると皆さんいわれます。わたくしの区では、高齢者のための食事サービス事業というのがなされています。月一回の若い集会です。

わたしは、Aサロン・あべのV紙を拝見させていただいて、多くのことを学びました。ガイドヘルパーさんのことや、鍼灸セ

ンターのこと、そして、今回の障害者基本

法。わたしは、いつまでたっても、気持ち

がガサガサなのに、慶子さんはしっとり、華やいでおられていて、AサロンVに二度

おじゃまさせていただきましたが、看板娘さんのように、羨望のまです。

「はあとがはろー」も海外にまで、届けられていますが、嬉しいです。

わたしの住んでいる区にも、早くAサロン・あべのVのようなふれあいの場がほしいと思われます。

Aサロン・あべのVの一層のご発展を心から、お祈りしております。



年一回の出会いでも

高尾 澄男

いつもAサロンV紙を送っていたいただき、

ありがとうございます。

僕は、仕事の都合上、AサロンVには年に一回くらい、行けたら良い方です。日曜日のバザーの時くらいです。

皆さんとは、年に一回お目にかかれる時かかれぬ時がありますが、不思議に思うことは、長い間会っていないのにもかかわらず、AサロンVに行った時には再再会している人と変わりないことです。これも一重に、いつもみんなが笑顔で温かくしてくるお陰だと思っております。

また、AサロンV紙には、例会の内容や色々な人の話題、勉強になることが豊富に載っているのです。僕のようにめったに参加出来なくても、AサロンVのことがよく解

っていいなと思えます。今後とも、AサロンVの輪が一層広がって行くことを心から祈っています。

星降る夜に

高梨 千恵子

八月半ばの一夜、和歌山の山中へ、生徒たちと星を見に行きました。大きなビニールシートに二〇人ほどが、寝ころがって空



をながめます。星がこんなにたくさんあったのか、と思うほどで見なれた星座もわからなくなりそう。「星座を線で結んでくれればよいのに」という声が実感として感じられます。この日の目的は流星群を見ること。輝く星の間をスーッと流れます。

「アッ 流れた」「見えなかった」とにぎやかに星空に目をこらしますが、流れるたびに「お願い事がいえなかった」とため息をつく生徒や、おしゅべりに夢中になつて、なかなか見られない生徒、待っているうちに寝息をたて始める生徒などいて、楽しい数時間でした。

天の川も、夏の大三角も美しく輝いていましたし、ゆっくりゆっくり移動しているのもわかります。生徒たちも地球が回って



いるというのを感じましたし、星の美しさ、自然の中に包まれる心地よさも知ったようです。この夏は、木星など宇宙が話題になりました。

私も久しぶりで夜空を見上げ、自然々を感じた一夜でした。

皆様も降る星の美しさをながめ、楽しんで下さい。

〔説得力あるハサロンV紙  
竹下秀樹〕

白ページに 一を書き足せば 百になり  
百号おめでとうございます。

ひとくちに百号といつても月刊ですから、八年と四ヶ月。毎月、テーマに則して出会いを行い、ハサロンV紙を発行し続ける精神力、なかなか出来ることではありません。私も第十四号以来の読者の一人で、バックナンバーは揃っていきまして、読み返すと、ユーモアたっぷりの「ヤカンの嘆き」や障害者としての切実な問題を浮きぼりにした「何とかしてエくな」など懐かしく思います。

ハサロンV紙には、ただ新しい仲間が増えたり、人の和の広がりだけでなく、障害

者の日常生活の困難さ、意識の変化などが時代とともによく映し出されています。障害者自身の目の高さから書かれた文章には説得力があり、胸に響きます。

これからもより充実したハサロンV紙の編集を期待するとともに、五百号、一千号を目指して頑張ってください。

出会いは参加出来ず、内心慥然たるものがあります。これからも毎号、楽しみに読ませていただきます。

〔個々にもお付きあい  
竹村定子〕

ハサロン・あべのV紙一〇〇号発行、おめでとうございます。

この間、五〇号にどの話だったのに、月日のたつのは早いものと、つくづく思う次第です。あまりハサロンVの会には寄せていただいていませんが、皆様とは個々にお会いし、お話させていただいているので、毎月のハサロンV紙は楽しく読ませていただき、勉強になっています。

これからもいろいろな方のお力で立派な機関紙が発行され、益々発展されますようお祈り申し上げます。



喝采を贈る

田中 美智子

やりましたネ。

一〇〇号おめでどうございます。

今、その意義と、このすばらしい実践を支えてこられたすごいエネルギーの集積を思い、欠かさず愛読している者として、感慨にひたっております。

受信者のマナーとして、絶えずアンテナを磨き、感度よくキャッチするよう心掛けます。

毎号を心待ちしている者のためにも、いつまでも発信し続けて下さいネ。

あらためて、皆様のご努力に喝采を贈ります。

自然にふれて

田辺 さかえ

△サロンV紙百号記念、誠におめでどうございます。お祝いですから、私の嬉しかった話を聞いて下さい。

八月二三日、私と姉と妹と私の次女とその子供(二歳七ヶ月)の五人で、近鉄赤目口にある「エコリゾート赤目」という所へ一泊しました。周囲は山と田んぼ、出てくるお食事は無農薬・有機栽培の物です。

宿泊客は、各部屋ごとに設けられたテールを囲み、レストランで全員がお食事をいただきます。食後は、孫を囲んで楽しく笑談。アツという間に夜明けです。

都会にはない地道を歩いてみようということで、「トムソーヤの森」をずーと登って行くと、テントウ虫、トンボ、コウロギ、そして、ツクツクボウシの声、小鳥の声、せせらぎの音など、心浮き浮きでした。

どれくらい歩いたでしょうか、道を見失ってしまつたのです。「なが坂」という下り坂、「古墳の森」という径。どちらをとるべきか迷つたのですが、「なが坂」。その向こうに車が走る位置が見えたので、そちらを選ぶことにしたのです。急な坂、娘

は二歳七ヶ月の子供と私を手引きして大変です。杉の木が伐採してあって、大きくまたぎながら下って行くのです。約束の時間を三〇分超過しました。とりあえず、一人で下りて民家から電話連絡するという娘に孫の手をしっかりと握りました。

そして、四人、その急な坂の所で待機していました。どれくらいたつたかしら、娘が帰ってきました。そして、また五人、歩を進めました。安心したのかその後の下りはとっても楽な気がします。十分ほどしますと、昨日の職員さんと違って、支配人さんが車で迎えに来て下さいました。

「ワーようこそ、ケガもなく全員無事で…よく下りて来てくれました。電話連絡もまた、ありがとうございます。山に入らなければならぬかと、安じておりました」その大きな声、包容力のある声、ご迷惑をかけたことに心いさめつゝ聞いておりました。娘にすがり白杖ついて怖かつたこと、つらかつたこと、いっぺんに吹き飛ばして下さるお声でした。

昨日の職員さんの細やかな心遣いといい、支配人さんの言葉といい、「二期一会」私の大好きな言葉、そのままだと思いました。

また、近いうちに訪ねたい心境にかられ心ほのぼのと帰路につきました。

(テープ起稿II富田)



お祝いのごとば

田 辺 徳 孝

△サロン・あべのV紙発刊一〇〇号記念  
まことにおめでとうございます。

△サロンV紙の第一号はいつのほどのことであつたか定かではありませんが、早十年にもなるのではないのでしょうか。その間月刊紙として、障害者の実体験を通して、また健常者とのふれあいの場として、あるときには感動を与え、あるときにははげましをいただき、私たちの生活の糧ともなったのではないのでしょうか。

また△サロンV紙作成にあたって、スタッフの皆さまがたのご苦勞に対しても、深く敬意を表したいと思います。

今後の皆さまがたのご活躍を心より、祈念申し上げます。(墨字訳II石田 律)

私は 孫悟空

田 淵 美 登 利

一度限りのつもりで出かけた△サロンVでしたが、気が付けば連載をもたせてもらい、寄席まで開いてしまいました。

これも、何かの縁?

いえいえ、石田編集長の笑顔と富田さんの物腰やわらかく、強い押しという、大きな手の平の上。私は、もう 孫悟空になりました。

△サロンV紙は、情報誌

千代松 真佐子

△サロンVと出会い 八年目。  
高校生の私が、今では子育てに追われる一児の母です。

福祉・教育に関心がありながら、その仕事からも離れている現在、△サロンV紙は、私にとって唯一の楽しみ、情報誌です。

これからも、永遠に続くことを心より願っております。

一〇〇号 おめでとうございます。

祝 成熟△サロン・あべのV

辻 本 輝 子

△サロン・あべのVの発案から十年、時の流れは限りなく正確で、百号達成おめでとう。紙面の出会いで、心のふれ違いを沢山得ました。

△サロンVを産み育てて来られた編集者の陰のご苦勞に敬意を表します。

今、△サロンVの精神が一人歩きし、他地域に育つ事を誇りに増々充実 発展を祈ります。



〔毎回、楽しみなハサロンV紙〕

手島 八重子

ハサロン・あべのV一〇〇号、おめでとうございます。

毎月、楽しみにして読ませていただいています。毎回、講師を招いてお話を聞き、学んでいけるよう企画されたり、福祉の事や皆さんのことが書かれているので、毎回楽しみにしています。

一〇〇回まで続けてこられたのは、本当に大変だと思います。

私も一障害者としてハサロン・あべのVがいつまでも続けられることを祈ります。

〔マイペース〕

T. SAKATA

Going my way and my pace (ゴーイング マイ ウエイ アンド マイ ペース)

正邪取捨選択、人の言に惑わされずに。

〔さあ一〇〇号へ〕

出口 正敏

五〇号では、五〇号万歳！ で喜びました。一〇〇号ではどうしようよこびかたを

すればいいのでしょうか？

耐えざる皆様の努力が確実に実っていることの証しだとおもっています。

遅れることもなく合併号でごまかすなんてこともないこの素晴らしい歩みを嬉しく見守ってきました。まずは継続をと願っていたことが単なる杞憂となりました。

モ一大丈夫、一人前のハサロン・あべのV紙になったものと信じます。

ハサロン・あべのVに関わった皆様のお互いのふれあいの回数と重なる訳なので、これまた大変なご苦労なしで、できるものではありません。ただただ皆様の力強い前進にはおどろきあるのみです。

残念なのは、五〇回以降一途にハサロン・あべのVをKSKQから(10)までを一字も余さず読み、心の糧にしなごら、一度もお逢いする機会を得なかつたことです。これからは、何とかして皆様とのふれあいを持ち、ハサロン・あべのVと皆様、そして私自身の一層の発展を祈りたいものです。

なお、五〇号、一〇〇号それぞれの特集号のほかは、現在のページ数をお守りくださることを希望します。ご編集にはご苦労



でしようが、読まないページができることは、つくる人にも、書く人にも損失の積み重ねになるから

〔エールをおくる〕

土井 俊次

ハサロンV紙一〇〇号記念、おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。昨年五月のハサロンVの出会いでは、大変お世話になりました。

あの日、皆さんから送っていただいた温かいエールを忘れることができません。本当にありがとうございました。今後のハサロン・あべのVのご発展と

活躍をお祈り申し上げます。

そして、△サロンV紙の二〇〇号・三〇〇号に向かって、今度はこちらからエールを送らせていただきます。

(電動車椅子サッカークラブ  
大阪ローリングタートル)

企画も楽しい

土井 端代

△サロンV紙一〇〇号、本当におめでとうございます。

毎月、お送りいただく△サロンV紙をいつも楽しみに読ませていただいております。いろいろな機関紙の中でも、とっても読みやすく、企画も楽しい△サロンV紙が最高です。これからも、二〇〇号、三〇〇号と、どんどん△サロンVの輪を広げていって下さい。

また、△サロン・あべのVの出会いにも参加させていただきます。

(サロンの一ファンより)

ボランティア 一年生

道工 美子

私にでも、何か出来る事があればと思っ

て、ボランティアスクールをのぞいてみた。人の手助けをすることが、ボランティアだと思っていた。

いろんな人と出会い、話しているうちに、考え方がかわってきた。ボランティアって、人の為ではなく自分の為にするんだなど、最近思えるようになった。



夢

富田 慶子

希えばかなう、念ずれば通じる等、一途の想いがあれば、いつかは応えられると言われていますが、それを実感させてもらったのが△サロンVとの出会いでした。

十年前に見ていた夢は、暗い夜道を一人で心細く歩いていました。今は、多くの人たちと話し合いながら、あちらこちらと動き回っています。不思議と松葉杖はどちらもついていませんが、前者はよく転び、び

っくりして目が覚めたりしていましたが、現在では階段を駆け上がったりすることがあります。生活に変化が出てくると眠りの中で見る夢にも変化が出て来るようです。

これからの十年、何を希い、何を念じていくかで、夜の安眠の楽しみもまた、変化していくことでしょう。

発進基地「あべの」

とみたまり子

「あべの」の地からの発進が、いつも内容豊かで、幅広く、教えられること、楽しいことありで、私の大きな情報源です。きんさん、ぎんさん追い越して長寿記録を伸ばし続けて下さい。

ボランティアとして

富田 美佐子

△サロン・あべのV、百回記念、まずはおめでとございます。

十年、ひと昔と言われていますように百回とひと口にいいまでも長い年月なかなか大変だったとお察し致します。

△サロン・あべのV紙を拝見させていただき、ボランティアの皆々様の努力と一致

協力の賜物と存じます。そして、冨田慶子さんはじめ、ご自身の障害を乗り越えて一生懸命努力されている皆様を見聞きして、実に立派な会であります事、感謝と同時に大きな感激を致しております。

私も歳老いてから大阪府立老人大学の福祉科で一年と、更にシルバーボランティア科で二年の二年間、福祉の勉強を致し、細々ながらボランティアにいそしんでまいりましたので、ボランティアの責任の重さをつくづく感じています。

ハサロン・あべのV様は、大きな柱を中心に会員の皆様が協力されていられるので、ここにめでたく百回目を迎えられる事に大きな拍手を送ります。どうか、これからも益々結束とハサロン・あべのV紙が永久につづいて下さる事を祈りて、合掌。



よろこび

中岡 弘子

私は今、毎日毎日よろこびをいっばいいっばい見つけることが日課です。

「あなたは今よろこびがありますか」と問われればどう答えますか。

すべての条件、すべての環境が整ったから、よろこべる。しあわせであるとは誰も思わないでしょう。

私は今、病気でもよろこんでいます。週三回点滴をころよりしてくださる町の赤ひげ先生がいらっしゃり、やさしい看護婦さんに出会えたことや、やっとおとなになったかよわいすず虫が、白い羽をつけてきのうより「今年もあえてよかったね。弘ちゃん」とないてくれていきます。今日はなすびが三つもとれました。

一日中体がだるく家で過ごしていますと、昼すぎ冨田さんより

「お変わりございませんか。百人一語に一言よせてくださいませんか。よろしく」とお手紙までつけて、いつも楽しみに読ませていただいているハサロン・あべのV紙が到着しました。

ある人のことばに「よろこべば、よろこ

びごとがよろこんで、よろこびつれてよろこびにくる」とありました。

今日も無事生かされたことに感謝して  
—合掌—

ハサロンVと出会い

中西 利香

ハサロンV紙一〇〇号おめでとうございませう。私とハサロン・あべのVとの出会いは、ハサロンVのクリスマス会に行ったのがきっかけになりました。

それから九年間いろいろと見たり、よいお話を聞いたり、たくさんの人と出会ってとても勉強になります。

最初のころは、私たちの身近な問題を取り上げて、年間のテーマにして話し合っていました。最近はだんだんテーマが難しくなってきた、パネラーの先生のお話を聞くだけになってきているように思います。

もうちょっと皆さんと、話し合える時間があった方がよいと思います。

これからもハサロン・あべのVが長く続いていきますように、お祈り申しております。

〔百人のメッセンジャーの一人〕  
中野 君江

△サロン・あべのV紙の記念号に投稿をとの連絡をいただいた。「私など…」と思いつくやはりお引き受けをした。

毎月発刊されるのをたのしみに愛読させていただいているけれど、お世話下さる関係者の方々の熱意と努力があればこそ今日まで続いているのだと思う。

発刊して一ヶ月くらいすぐ日が流れ、次の企画、投稿の配分、依頼などを考えると、勿体なくて隔々迄熟読させていただいている。同じ障害者の立場の読み物なので、はげまされている。障害者同志といっても各人それぞれ年齢によっても大差がある。

私などまだ一度も、飛行機も、新幹線にも乗った事がない。もっと障害も軽かったのに。家族は各々のグループの集まりの旅行に出かけたのに、私は何時も留守番役ばかり。障害者の会に入ってから、やっと皆さん方とたのしい旅行が出来、嬉しくてならない。少々お世話をかけるけれど、ようしこれからは、どんどん旅に出かけ、おいしいものをたべる事にした。若いうちにしか出来ないのなもの。

△サロン・あべのV紙のこれからも、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

〔乾杯〕  
七八歳 おはなはん

百号にカンパニー！  
百回にカンパニー！

〔△サロン・あべのVとの出会い〕  
長 島 伊津子

富田慶子さんを通じて△サロン・あべのV紙を送っていただいたから、もう何年になるだろう。

「出会い ふれあい 助け合い」の言葉をかゝけて、毎回有意義なふれあいの場を考へて行われている会と、充実した中身のサロン紙にいつも感心しております。

私は京都に住んでいるので、送って下さるサロン紙を拝読するだけですが、あいか彩子さんのファッションショーにお誘いを受けて出かけたのと、上野谷先生の「地域福祉を創る」のお話をきく友人に連れて行ってもらって、△サロンVの雰囲気をはじめて感じさせていただきました。

障害者だけでなく健康者をふくめ、いろ

んな立場の人たちと共にふれあう事は、しらずしらずの内にお互い理解しあつて行く事につながるのではないかと思います。  
「△サロンV紙百号」におめでとうを申し上げます。

〔ご苦労様〕  
長 野 まさえ

いろいろな行事をしておられ、ご苦労だと思えます。これからも頑張つて、ずうーと続けられますように。

(南光さんのヘルパーさん)



〔百歳まで〕  
南 光 仁 子

△サロンVは百回、△サロン紙V百号、そして仁子は「百歳、百歳」まで花を咲かせるゾー！

〔 ゆったりハサロンV  
ナンペイ&ヒトコ 〕

いろんな新しい「顔」に出会えるハサロンVもステキだけれど、いつものおなじみさんと、ゆったりと「茶飲み話」の出来るハサロンVであってほしいなあ。



〔 出会いは貴重な宝です  
西谷 知子 〕

百回記念、おめでとうございます。石田様と出会わなければハサロン・あべのVに出会うこと、なかったと思います。人の出会いというのは、気付かないうちに人生の財産・宝になっていくものだと思います。これからも、多くの方々にハサロン・あべのVをとおして、貴重な財産・宝をつくって行って下さい。

貴重な体験をさせて下さいました石田様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

〔 みなともだち  
萩原 弘巳 〕

友達の友達、その友達の友達もみなともだち

いつも、こんなふうでいたいですね。

ハサロンV紙一〇〇号、おめでとう！

この暑さじゃ、気のきいた言葉も浮かび

ません。こんなコピーでよろしかったら載

せて下さい。もちろん、ボツっていただい

ても、うらみませんから。でも、本当に毎

月コツコツと一〇〇号まで、なんてすごい

ことだと思えます。これからもよろしく。

〔 娘より… 母へ…  
橋野 享子 〕

ハサロン・あべのV紙の中で、高齢者・

在宅介護という項目をみつけました。

私の祖母もほぼ寝たきりの状態です。

「赤ちゃん返りする」っていうのは、ほ

んどうですね。昼と夜が逆転したり、無理

をいって困らせたり、ほんとうに手のかか

る「大きな赤ちゃん」です。

嫁いだ時からお姑さんとの同居で苦勞し

てきただろうに、どんな時でも母は祖母に

対して笑顔で介護しているのです。

すごい！ 頭の下がる毎日です。

そんな母の笑顔が私たち家族にとつての

救いです。でも、ふと母の顔をみると「老

けたな」と感じるがあります。母も、

もう孫もいる年齢なのです。私も、もつと

もつと協力しないと…と反省しつつ行動が

ともなわれない娘で、ごめんね…。

これからは、介護する側も高齢化が進ん

で負担が大きくなり、家族の協力なしでは

在宅介護はむずかしいと思います。

最後に、ハサロンV紙一〇〇号おめでと

うございます。「何でもいいから、思った

ことを書いて下さい」と機会を与えて下さ

った石田 律さんに感謝します。

〔 あなたが 好きです  
浜 本 浩 喜 〕

大切な出会いを 気付かせてくれた

あなたが 好きです。

〔 気力湧き出す  
林 三起子 〕

九歳の時、関節リウマチに浸され、身障

手帳一級の所持者となり、四〇年近く過ぎ

ました。その間入退院を繰り返し文字通り、



七転八起の人生でしたが、五〇歳半ばを越して、更に終身刑とでもいうべき人工透析を受ける身になろうとは、私にとり想像を絶する大事件でした。

余命ある限り必ずや週二、三回の透析を受け、鎖につながれたような長い透析時間、それに伴う不快な症状――。

手足の不自由な私に、一人暮らしの私にこれから一体何ができるといふのか――。私は狼狽し、不安と絶望のどん底でした。

しかし、そんな私にもほんの少しずつほほ笑みが戻ってきました。病院の医師、技師、ナース、それにリフトタクシーの運転手、これらの方々の心温まるふれあいがあればこそでした。

いま、新しいふれあいの中で、再び人生に向かいあい、生きる事の幸せを噛みしめたいと思っております。

□短歌二首

医師（技師）ナースのやさしさこそが  
支えにて透析通う気力湧き出す

わがまわり良き人ら居て透析を  
終えれば数日命安けし

ばぶー  
原田 友 弥

まあんま まあんまあんまあー  
ぶーぶー ばぶー  
(生まれて七ヵ月)

懐の深さ  
原田 仁

♪踊るあほうにみるあほう同じアホなら踊らにヤソソソ♪ 阿波踊りがどうしたって。いや、ハサロンの話です。阿波踊り

というの、伝統のある、それはもう芸術としかいえないような「連」があるかと思うと、みている者にはどうでもいいような学生たちの連や、観光客でも参加できる勝手連なんかもあって、それがなんとも「懐の深さ」を見せてくれます。

ハサロンもそんなもんだ、と阿波踊りをみて思うのです。

ハサロンVという居間  
原田 博 子

居間ら家族全員がそろってる。何をしているのかといえ、一人はファミコン、一

人は縫い物、一人は読書、二人はおしゃべり。みんなバラバラで、そろってなにかをしているわけではないのだが、各自が自分の部屋にいるよりも居心地がいいらしい。ある友人の家族団らんの風景である。

私は、この話を聞いてハサロンVを連想した遮二無二一致団結してなにかをするのではなく、ハサロンVという居間で、自分の好きなことをのびのびとやっている。それでもって、みんなとっても元気だ。うくん、たくましい組織だなあ。

これからも  
平尾 貴久雄

いろいろな人たちが文章を書かれていて、それがこうしたハサロン紙Vという形になって続いていることが大切だし、立派なことだと思えます。また、「早川福祉会館」の利用法などのように、障害者に関わっているものでも、あまり知らない情報をこれからも、どんどん載せていってもらえれば、と思います。

(南大阪療育園PT)

〔ハサロン・あべのV〕

藤井 さゆり

いつもハサロンVの月々の講義のお話を聞くのを楽しみにしています。

そして、いろいろなジャンルの先生をさがしはるのには、いつも感心してしまいます。そして、「人の輪」の大切さをしみじみ感じています。

第三十曜日のハサロンVの日に来られる皆さんが、楽しくなるような、元氣が出るような内容のお話が、たくさん聞けたらなあと思います。



〔大阪からの風〕

藤沢 真理子

出会い一〇〇回・サロン紙一〇〇号、お

めでとうございます。

いつも、社会福祉の新しい風を大阪からお送りいただき、ありがとうございます。

四国の街からいつか、ハサロン・あべのVのような風をお送りできたらと思っています。これからも、ご活躍下さい。

〔聖カタリナ女子大学社会福祉学部〕

〔出会いの素晴らしさを知って〕

藤田 洋子

私が初めてこちらのハサロンVに参加させていただいたのは、確か今年の三月の出会いだったと思います。この出会いのほんの僅か前に、子供の頃入院していた病院の同窓会で知り合った浜本浩喜氏に誘われてのことでした。今にして思えばこの出会いがハサロンVとの出会いの始まりだったようです。

浜本氏に会わなければハサロンVに出会えなかったし、また同窓会にいかなければ彼に会うこともなかったのですから、人との出会いの不思議さ、そして、大切さを感じるこの頃です。

ハサロンVに参加させていただいて感じたことは、出席されている人が皆さん明る

くて、それに「来るものは、拒まず」とでもいうのでしょうか、初参加の私にも気軽に声を掛けてくださる気さくな雰囲気があるように思います。そして、何よりも、一人一人が前向きに生きていることが素敵だと思います。皆さんとの出会いの中で私も少しずつ自分の殻を破って外へ出る勇氣を出そうと思います。

これまでの出会いを大切に。  
これからの出会いに胸弾ませながら……

〔毎月のハサロンVが楽しみ〕

堀田 ゆかり

私は、ハサロン・あべのVに参加するようになって、一年になります。

そこで、いろいろな方と出会うことが出来る、毎月ハサロンVに出かけるのが楽しみです。

これからも、参加しようと思っています



いざ鎌倉のときはまかせて：

松本 孝

颯爽と逞しく、記念すべき通過点を走り抜ける、サロン・あべの君 おめでとう。ずーと 一方的に 私ばかり得をする付き合いをさせてもらって 本当に申し訳ないと思ってる。このせちがらい世の中、そんな付き合いも たまにあつたつていいんじゃないの。そのうちに、絶対にいざ鎌倉というときに押っ取り刀で駆けつけるから、どうか勘弁して下さい。けど、いざ鎌倉なんて なるべくない方がいいよ。末ながく よろしく。



継続はグループのかけ橋

丸山 寿美子

△サロンV紙記念の百号、おめでとうございます。運営委員の方をはじめ、皆様方の努力と若さあふれるバイタリティーとやる気と根気が百回を越え、さまざま印象に残る企画、運営に繋がったのだと思い、敬服しております。

△サロン・あべのVは、着実に地域に根付いて大きな幹になり、何本かの枝も伸びている様子に心からお喜び申し上げます。

これからも、ステキな出会い・ふれあい・助け合いの輪、△サロン・あべのVでありますよう、祈っています。

△サロン・あべのVのように

宮脇 均

私の地域にも△サロン・あべのVのようなものがほしいと、ずっと思っていました。それが、たくさんの人たちの協力で「ウイズ・東淀川」として、七月よりスタートしました。

「ウイズ・東淀川」を始めて、人と出会う事の楽しさや、何かを始める事の大変さを少しずつ実感しています。

これから△サロン・あべのVのように長く続くよう、たくさんの人たちとがんばっていきたいと思います。

メンバーの実感

森 悦子

一〇〇かいもの出会いのうち、私が参加したのは片手で十分足りるほど。

けれど、行けば客ではなく、メンバーであると感ぜさせてくれる。

一度だけの出会いでも

森 芳江

一〇〇回の出会いをつくり、育ててこられた、スタッフの皆様が努力に敬意を表します。一〇〇回の中で、私はただ一度だけ△サロンVに寄せてもらったのですが、それからは毎月送って下さる△サロン・あべのV紙を読むのが、今まで以上に楽しくなりました。それは一度だけでも、皆様にお会いしたことで、これはあの方や、あつこれはあの人やとの想いからです。

出会いの楽しさを一層大きくさせてもらった思いがします。

「あこがれのハサロン」

森口敬子

「毎度!」と、いつもの笑顔の石田さん。たまにしかお目にかかれなけれど、やさしい笑顔の富田さん。

そんなお二人が中心となって、運営されているハサロン・あべのV。

きつと、温かい雰囲気にも包まれている素敵なサロンなんだろうなと思いつつ、残念ながら、まだ、その扉をノックしたことがありません。ぜひ一度、伺いたいものです。

「暑中の清涼剤」

森下公子

七月十二日から十四日まで、日照り続きでカラカラの山口県湯田温泉で開かれた、全国民生委員・児童委員の女性部の大会に出席した時の事です。

午前中の研修を終え昼食になった時、アトラクションが始まりました。

ずらり並んだ方々は、山口県立豊学校の生徒さんでした。小学生から高校生まで、男女三〇人くらいの生徒さんが揃いのほっぴ姿で力強く太鼓を打ち、私たち遠来の者を歓迎して下さったのです。

幼な顔の可愛い女の子、お兄ちゃんだぞ

ーと思わせるたくましいノッポの男の子、

耳の不自由さ等、みじんも感じさせない見事なバチ捌き、あーとかける掛け声も身体中からだしている様、聞こえない人ばかりの身体に感じて打つ太鼓のすばらしさ、

少しの乱れもなくその見事さに、お弁当の包みをあけたまま、私たちはすっかり胸打たれ感激に皆しらすしらす涙を流していま

した。不自由を克服して楽しげに、そして、無心に太鼓を打つ生徒さん、見事に指導なさった先生、演奏が終わってからも、拍手なりやまず……生徒さんたちの努力に大感激しました。

暑い会場で、途中冷房が切れ、サウナの中の様でしたが、しばしこの嬉しい歓迎をしみじみ味わった事でした。



「二十一世紀に向けて」

八木千代

ハサロン・あべのV紙、一〇〇回記念、おめでとうございます。

健康者の私ですが、毎号回を重ねるたびに、充実していく内容に目をみはる思いをしてきました。大変なご苦労だと頭の下がる気持ちでいっぱいです。

私事ですが、五〇年住みなれた阪南町の家を、歩いて五分くらいの新居に転宅致しました。いろいろの思い出がいっぱい詰まった家です。でも、今は「心機一転」。

ハサロン・あべのVが、二〇〇回、三〇〇回、いえ五〇〇回も夢ではなく「二十一世紀」に向けて羽ばたくように。私もボランティア、その他の会のお世話をしながらハサロン・あべのVの皆様と一緒に「二十一世紀」に向かって羽ばたきましょう。

「七二八(なにわ)」

山口豊子

先日、夕食をとりながら民放のテレビニュースをみていたら、こんな会話をしているのが耳に入った。「なにわことば」を見直そうと云うことらしい。七月二十八日、そ

の日に力を入れて……云々。

関空（関西国際空港）が開業するのに因んで、大阪（難波）を世界に広め発展していくことを願ってらしい。

その内、そこ、ここでこんな会話が頻繁にきかれるかも知れない。

「うちんとこへ、外国の、お客さん、きやはるねん」

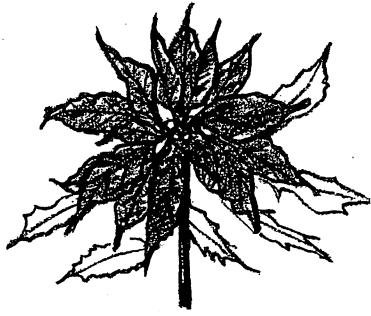
「ふうん、そうでっか」

「そら、えらいこっちゃな」

「ぼちぼち、しなはれや」

「ほな、さいなら」

昔のイトさん、コイさんが、町角で……（ごめんやすおおさか弁）から抜き書きしました。



「ワァ すごい 一〇〇号ですって」  
山田 絹代

私のハサロンV紙どのおつきあいは、六七号からです。

毎号毎号ぬくもりを感じる記事満載。手にして一気に読んでしまいます。すみからすみまで、手づくりの良さが感じられ、又、それでいて、勉強させていただく個所ありで、増々楽しみにしています。

読ませていただいたハサロンV紙、大切に残しています。

「出会い」を考える  
倭 幸夫

「出会い」——。それも本当の「出会い」とは——。//他者を正しく発見すること//といえる。またそれは、未知との遭遇でもある。そして、//他者を正しく発見する//とは——自分と他者との対等な、全人格的なふれあいである。そこには絶妙なバランス感覚が要求される。これは口でいうのは易しいが、むつかしいことだ。しかし本当に他者を知ろうと思うならば、その壁を乗り越えねばならない。前向きに、他者とのかわり合いを求めて——。

「会う」ことは易しい。しかし表面的なふれあいで終わらず、胸襟を開いて、持てるものをぶつけ合う行為こそ、他者を知る直道ではないかと思う。その意味でハサロン・あべのVの毎月の出会いは、楽しい、学ぶことが多い。

また、他者とは存在するものすべてであり、人間だけでなく、自然現象、異文化、未知の土地、風俗、風景すべてであると思う。そこから私たちは、無限に「知るに足る」ものを、自らの努力で見出さなければならぬ。

「祝 百号」  
山梨 徳治

ハサロン・あべのV百号、おめでとうございます。発刊より今日までの編集に数々の苦勞があったと思いますが、関係者の方々に深く敬意を表します。

今後益々すばらしきハサロン・あべのVに発展しますよう、お願いとお祈りを致します。ある哲人曰く

「発心することはやさしいが、それを持続することはむつかしい、けれど成功するのは、持続することにある」(趣意)

と、いわれています。

続けるというその努力と苦勞を伴う作業に八年余の歳月をかけられたことは、すばらしいことだと思えます。そして、又どこまで続けられるか期待しています。その姿を通して私たちの人生に於ても持続すること、持(たち)続けることの大事さを示す灯台になって下さい。

益々輝く△サロン・あべの▽であり続けて下さい。

祝・△サロン▽紙一〇〇号

山村貴司

△サロン▽は、障害者の問題だけを取り上げるのではなく、ワインや色の話、落語などのテーマなども取り上げて、障害者と健常者が自然とつながりができるような、かたよりのないところがいいと思います。△サロン・あべの▽紙一〇〇号 おめでとうございます。

△サロン・あべの▽と私

山本篤江

私にとって、△サロン・あべの▽は、施設を出てから初めてのサークル活動です。

学校と施設の活動しか知らなかった自分

にとって△サロン・あべの▽は、カルチャースティックそのものだったのです。それから、約十年経ったとは思えないほど、いろいろな事を教えてもらいました。これからも△サロン・あべの▽と一緒に大きく成長できればと思っています。

出会いありがとう

山本敏子

△サロン▽紙一〇〇号記念、心よりお祝い申し上げます。

富田様とご縁あって、一号からずっと毎月拝読、出会い一〇〇回分が、私の手元でも纏じられようとしています。

六三号(91年9月21日発行)からは、朗読テープ吹き込みのお手伝いをさせていただいています。

漢字の読みが、勉強になりますし、いろんな出会いが楽しみです。お聞きいただいている方とは声と心で通じ合えることが出来れば幸いです。

△サロン▽との出会いありがとう。

△サロン・あべの▽を通して、障害者と健常者の交流が増々深まり、発展していき

ますよう祈っております。

楽しく読んでます

山本芳輝

百号、おめでとうございます。

いつも楽しく読ませてもらっています。内容が充実しているので驚いています。これからも頑張ってください。

喫茶「みどり」

百号、お疲れさま

Y U Z O

いつも△サロン・あべの▽を、ありがとうございます。毎号、楽しく拝見しております。

いよいよ百号達成ですね、お疲れさま。これからもユニークな活動を応援します。ガンバってください。

百号の紙面に滲みたる汗の跡

楽しむ仲間には…

行澤公子

今までずっと「一生懸命」生きて来たよ  
うな気がします。たとえば、旅行に行っ  
ても「一生懸命」旅をしてしまったり、遊  
びでさえ「一生懸命」励んでしまう。ふと、

気がついた時そんな自分がすごくしんどくなって、体の力を全部ぬいてしまいたいと思つて、好きなことをして暮らそう……。十七年間の保母生活にピリオドをうち、ただ「旅行が好き」だけで、旅行代理店をはじめてしまいました。

ある日、ハサロン・あべのVを知りました。その時とてもいい気持ちになりました。なんか「ホッと」する気持ちというかな？ あつたかくて、のんびりしてて、意見もしつかりあるのにさりげなくて。ステキな集まり、ステキな仲間を感じました。

私「障害者のための旅行！」とかあんなまじりきばらんと、みんなで「出会い」の旅を楽しもうと思つています。人生を楽しむ仲間に入れて下さいね。



感動いっぱいのハサロンV  
吉岡 啓子

数回しか出席させていただいていないのですが……。毎回パネラーの話の後に、いろんな世界が見えて来て、貴重な経験をありがとうーと言いたいです。

熱気球から落ちた先生の後にアフリカの大砂漠を見ました。そして、ワインの話の時にはパーサーやスチュワーデスさんの後にドイツやファーストクラスの座席がすぐに見えて来ました。それから、もちろん（ワインの話だったので）フランスやスペインも。コンサートの時には、小川が流れて来て心が澄んだ気がしました。

これからもいろいろな出会いを通して、いっぱい感動を下さい。

すてきなところ  
吉岡 知美

ハサロン・あべのV紙一〇〇号発行おめでとうございます。

私も参加者の一人として、とてもうれしく思います。

私がハサロン・あべのVと出会ったのは、四年半前、大学卒業したての時でした。

あべのボランティア・ビューローのコーディネーターとして関わり、いろいろ勉強させていただきました。

今は、なかなか参加できないのが現状ですが、久しぶりの参加でも、皆さんが温かく迎えてくれる。そこが、すてきなところ です。

これからも、年齢の違い、障害の違い、その違いを乗り越えて交流できる場ハサロンVで、いろんな人と出会えるといいなあと 思います。

サロン村の「さろん亭」  
寄席 好男

ハ百人一語Vの原稿を何でもいい、一行でもいい、書いてほしい。といわれてその気になって、百回の出会いを企画し、新聞を百回発行してきました。ハサロン・あべのVさんに、ふざけて「アホ・バカ・マヌケ」と一行かくわけにはいけません。さりとて、出会い百回・ハサロンV紙百号おめでとう。というの芸がない。しからば芸のあるところで、ハサロンV寄席の定席「さろん亭」でバカバカしいお笑いの一席がかり、横ではたご焼きの店「さろん亭」が

ソースのこげる奥いをたてている。つぎの  
節目のときには、いろいろな「さろん亭」  
が軒を並べている、にぎやかなハサロンV  
村が出来ている。

こういうハサロンVの未来を占うちゅう  
のはどうです。

互いの成長を...

吉田 幾俊

障害というキャリアを活かせるよりよい  
社会を求めて、楽しみ、学ぶ出会いの中か  
ら一歩ずつ、お互いに成長していきたいと  
思います。

当会のより一層の発展を期待しています。

出会い ふれあい 助け合い

吉田 八重子

ハサロン・あべのV紙一〇〇回記念おめ  
でようございます。

私の出会いはハサロン・あべのVの発会  
式で、いろんな方々に出会えてから、いろ  
んな形の障害があることに気付かされまし  
た。私も視力障害者です。いろんなところ  
に行き、いろんな勉強をさせていたいただい  
ております。

と同じくらいとても暑いにもかかわらず、で  
す。

Königsutter, 18.9.1994

Dear Keiko,

thank you very much for your last letter.

Since the last time we've heard from each other many very  
important events have been happened in my life: First I've found a  
new job in a little city 300 kilometres away from Unna. I'm  
working there since 16.8.94. It's a very interesting job as  
psychologist in a great psychiatric hospital. To my regret I'm  
getting only a working-contract for one year, but I hope, there  
will be a chance to continue this contract next year. In the  
moment I enjoy my new job in spite of I must change my centre of  
living from Unna to Königsutter. The distance of 300 kilometres  
is so great that I can't visit my friends and my father very  
often. So I've seen them last time 5 weeks ago. It's a hard time  
until I will have arranged my life in the same way like in Unna,  
but it's also a very interesting time. My new address is:

Brigitte Ehrenberg  
Am Burhagen 2  
38154 Königsutter

Because of my new job I haven't gone to holidays this year - in  
spite of the summer in Germany was nearly so hot as in Japan. But  
the region - I'm living in now - is a centre of tourism, so that I  
feel sometimes like in holidays. Unfortunately in the moment I've  
only little time to explore my new surroundings. This is also the  
reason because my letter is only a short letter this time.

But I don't want missing to congratulate your group for the 100th  
exemplar of your group newspaper. This is a very impressing result  
and your group can be very proud of it. I wish your group also  
such success in future, so that you soon will celebrate the 200th  
exemplar of your newspaper. Will you make a jubilee exemplar of  
your newspaper or a jubilee party? I wish you success therefore,  
too.

With best wishes and curious for your next letter

Brigitte

でも私が今すんでいる地方は観光の中心で、  
休暇を楽しんでいるような気分になることも  
あります。残念ながら、この新しい環境を探  
険する時間は少ししかありません。これは私  
の今回差し上げたお手紙が短くなってしまっ  
た理由でもあります。

でも、あなたがたのグループの新聞が創刊  
100号をむかえたことを祝福せずにはいら  
れません。これは非常に感銘深いことであり、  
あなたがたのグループが誇りにできることだ  
と思います。将来、再び同じような成功をお  
さめられることを期待しています。

200号を祝うのももうすぐのことです  
う。記念品や記念パーティーの予定はあるの  
ですか？ それらの成功もお祈りします。

お返事を心よりお待ちしております。

ブリギッテ



私のふれあい、いろんなところに出かけ  
て行き、いろんな人とのふれあいが出来ま  
す。あの人にまた会いたいか、また会え  
たと、思い浮かべては楽しみにしています。  
助け合い 私は一人で歩くことが多いで  
す。横断歩道で、信号を待っているときに  
「信号 青ですよ」

なにげなく教えていただけたとき、いろん  
な場所で声をかけていただき、一人歩きを  
助けていただいています。たくさん人の  
一言をうれしく耳にして、いろんなところ  
に出かけています。

△サロンV紙のスタッフの皆様も大変で  
しょうが、二〇〇回記念に向かってこれか  
らがんばってください。

(墨字訳 石田 律)

興味ある△サロンV

吉田 妙実

△サロン・あべのV紙百号記念おめでと  
うございます。

最近△サロン・あべのVを知り、△サロ  
ンV紙からしか△サロンVの活動を知りま  
せんが、「素直な心・豊かな心・柔軟な心  
」を持っていらっしやる活動に、とっても

## 海外から

ケーニヒスルッテル1994年9月18日

親愛なる慶子さんへ

お手紙ありがとうございます。

最後にお手紙をやりとりしてから、私の生  
活にとっても大きな出来事がたくさん起こりま  
した。まずはじめに、私はウンナから300  
km離れた小さな町に新しい仕事を見つけま  
した。8月16日からそこで働いています。  
大きな精神病院の中での仕事で、それは心理  
学者である私にとって、とてもおもしろいも  
のです。残念なことに私は1年間しか雇用契  
約を結んでいないのですが、この契約を来年  
も継続できるチャンスがあってほしいと思っ

ています。

生活の中心をウンナからケーニヒスルッ  
テルに移さなければなりません、私は今の仕  
事を楽しんでいます。300kmという距離  
は長すぎて、友人や父に思うように会うこと  
ができません。最近彼らに会ったのは5週間  
も前です。ウンナにいた時のように、今の生  
活に慣れるまでにはたいへんな時間を過さな  
ければなりません、それが楽しみでもあります。

新しい住所を書いておきます。

brigitte Ehrenberg  
Am Burhagen 2  
38154 Königsutter

新しい仕事のために、私は今年に入って休  
暇をとっていません。ドイツの夏が日本の夏

興味深く感じています。共に歩みさせてもらえるハサロンVでありますように。

〔初心忘れず〕

吉原和郎

ものごとを始めたいへんなことです。しかし、それをよりよく継続させるのはもっとたいへんなことです。

長く活動していると、設立の目的や活動の目標を見失ない、何のために活動しているのか、わからなくなってくるのが団体活動の現状です。

このような現状のなかにあつて、確かな足取りで、一〇〇回も続けられたハサロン・あべのVのみなさんの努力に対し、心から敬服するしだいです。

これからも、「初心忘るべからず」の気持ちで、二〇〇回を目指して、決して片意地をはずさず、一〇〇点満点を望まず、合格点を目標に活動され、ますます発展されることをお祈りいたします。

〔出会いは財産〕

脇坂博史

数年前、視覚障害者の方と一緒に郊外へ

〔勇気のあるものだけが成功することができます〕

馬泰植

昔の私の生活は、暗くて寒々しかった。何もできないという考えがいっぱいで、絶望に全身が包まれていた。

いくら考えても、どうすればよいかわからなかった。

長い歳月が流れて、ある日、聖書を読みすすむうちに、私の胸は感動にふるえました。

「きみたちはGodの意の中で、皆のものをすることができます」

この言葉で私は、たちまち、障害者でも何でもできるという素晴らしい考えに思いがきました。これだ！ その日から新しい生活が始まりました。いろんな苦難や問題がなくはありませんが、一度勇気と希望を持てば、生活は新しくなります。

現在、私は結婚をして息子たちがいて幸せな家庭と、仕事をもち、とても忙しい毎日を過ごしています。

障害者たちには多くの困難がありますが、いつでも、どんな仕事でもすることができるといふ勇気と希望をもって生きれば、かならずよい結果を得ることがあると思っています。

私と私の協会よりハサロンV紙一〇〇号おめでとうございます。

(韓国より)

◇ ◇ ◇  
99号「海外から」の欄に、韓国からのお便りが紹介されてしましたね。いま、韓国にとっても関心をもっているものですから、興味深く拝見しました。

「近くて遠い国」と言われて久しいですが、言語など共通点の多いことを考えると、もっと仲良くなれると思います。

……などなど、思いをめぐらしながら読ませていただきました。

次号はいよいよ一〇〇号！  
期待しています。

(D)

行った。

「歩いているとコンクリートと違い、足に伝わる土の感触が気持ちいいですねえ」とふと言われたとき、へなるほどVとうな

ずかされた。その時、風が涼しいとか、緑が美しいという感慨を抱いていた私は、この人と一緒に歩いて良かったなあと、しみじみ思った。

人との出会いは、自分にはない何かを得ることが出来る。それを得たとき、豊かな心持ちになる。だから、人との出会いは大

きな心の財産となる。

へサロン・あべのVは「〇月の出会い」とされていることに、私は大変、豊かな感触をいだかせていただいている。

地元に住んでいながら、なかなか参加させていただけませんが、滔々と流れているへサロン・あべのVの活動に、私は清涼感を、味わせてもらっている。

へサロン・あべのVには、仕事上でも種々、お力をいただいていることに感謝しつつ、今後もさらに大きく出会いの輪が広が

ることを、ただ祈るのではなく、私なりに一緒に努力をさせていただきたいと念願している。(大阪市社会福祉協議会)

出会いから出会いへ

和田 保子

富田さんの温かい励ましのお手紙で、私は少し元気が出せるようになりました。

へサロン・あべのVとの出会いが「サロン・淀川」との出会いに通じました。富田さんとの出会いに感謝しています。

へ百人一語Vは七カ月のボクから十歳

のご婦人まで百十二人の方からお寄せいただきました。

気持ちをいうから文章にしてーという

方も、なかにはいらっしやったとか。寄せられた言葉は各々皆違いますが、それぞれにへサロンVを思ってくださいるみな

へ百人一語Vあとがき

さまの心がひしひしと伝わってきます。ありがとうございます。



郵便で、速達で、宅配便で、函で、電話

で、手渡して、そして、韓国・ドイツからは、航空便で届きました。

た。

\*寄稿文の掲載は、だいたい五十音順にしています。編集部(石田 律)

サロン紙も今月で百号になりました。そこで、今日は、サロン紙を編集している石田 律・富田慶子ご両人に編集者としての苦労話や

## 自画自賛うちらの話

編集者が百号に浮かれて話す

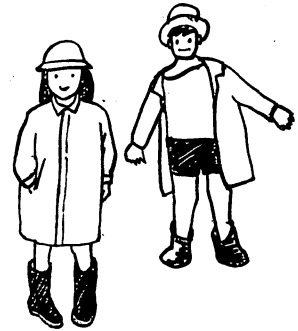
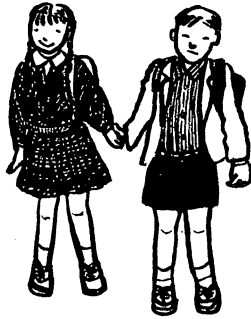
〇対談〇

自我自賛の自慢話、  
サロン紙にまつわるエピソードなど、百号に浮かれたお二人からは、さて、どんな楽屋裏の話が聞けますか……

一〇〇号を迎えて

富田 へサロン・あべのVが七月に出会い一〇〇回を迎え、サロン紙が今回一〇〇号ということになって「一〇〇」という数字を意識し始めたのは、「はあ」とが「はろー!」を書き出してからです。実際その「一〇〇回目の出会い」を迎えた時、数の大きさより、人との出会いの貴さをあらためて感じました。また、サロン紙が一〇〇号になるということも、その人たちとの出会いがあればこそと思います。

石田 出会い一〇〇回、サロン紙一〇〇号。これはすごいことだと思います。いろいろなボランティア活動がありますが、なかでもいちばんむずかしい部類に入るのがサロン活動といわれています。それが一〇〇回、一〇〇号になったちゅうのはスタッフとちがいますか。極端にいうと、これだけのバランスのとれたスタッフがおらんことにはサロン活動は出けへんと思います。それに層も厚い。サロン紙だけに限っていても



誰が抜けてもキッチリフォローできる  
スタッフがいる。

富田 回を重ねていけば、一〇〇までくる  
のは当然といわれていましたが、実際  
「一〇〇号」を迎えてみますと、やっ  
ぱりスゴいなあーと思います。

石田さんが入院されたときは、どうな  
るか心配しましたが、他の委員の方  
がすぐ引き受けてくださり、とぎれる  
ことなく発行できたときはうれしかっ  
たですね。

皆さんのお陰だと感謝の思いでいっ  
ぱいです。

石田 これは強いです。

△サロンV紙のぬくもり

富田 △サロンV紙に一環して流れている  
温かみや、優しさを感じさせる雰囲気  
があるとよく聞きますが、石田さんが  
サロン紙を作っていかれる上で、これ  
だけというポリシーは、

石田 ポリシーなんて大上段にかまえたも  
のではありません。△サロン・あべのV  
の活動が伝達できればええんです。例

会に来れなんだ人にも雰囲気伝われ  
ばそれで十分。一回抜けたら来にくい、  
二回抜けたらなおさら。けど、△サロ  
ンV紙で抜けた感じがしない、これで  
いいんです。

ところで出合い一〇〇回を振り返った  
「はあとが はろー！」終りましたが、  
あれサロン活動のええテキストになり  
ますよ。抜刷りしませんか。

富田 そうですね。他区の地域にもサロ  
ン活動が拡がっていますしね。参考にして  
いただければ、うれしいですね。

石田 来年の十周年目指して単行本にする  
計画をぜひすすみましょうよ。

富田 ところで今の△サロンV紙は、頁数  
も多く内容も大変充実していると好評  
なのですが、初めは…。

石田 第一号は週刊誌大片面(B5版)。  
それから一般の新聞の二分の一頁大  
面(A4版)。すぐ両面になり、第九  
号から現体裁になりました。富田さん  
がワープロをはじめたのが当たって  
一大変革があったというのが当たって  
いるでしょう。

読みやすいのは活字です。なんぼ上手

にかいても手はあきません、活字には負けます。

### 魅力ある内容

富田 内容的には例会の報告が中心で、このテーマに沿った原稿を依頼するようになるんですが、その都度、ふさわしい人をとということでサロンの出会い終了後に石田さんから「あの人に書いてもらへんやろか…」と声がかかりました。でしよ。

初参加の人でも、お願いした人は、かならず、期待どおりのものを書いてくださいます。いつもそのヒラメキの確かさに感心しています。

石田 思いつきをいうばかりで、後は知らん顔。依頼や催促といった実務面は今も富田さんにおんぶにだっこで申しわけなく思ってます。

富田 例会の記事・連載ものなど内容と頁にバランスを取りながら毎月定期的にサロン紙を発行するという事は、色々ご苦労が多いと思いますが。

石田 発行した思うたら、次号のメ切がき



てる感じですが。いつ出してもええ塩漬

け記事があれば楽なんですがね。なかなか無理です。グレードアップにと頼んだ旭さんの「THE DEAF MUTE」にはじまって原田さんの「まちづくりのはなし」「VOLANTIA CENTER」いま連載中の井元

さんの「高齢者と在宅介護」にいたる一連のお勉強ものは途切らすといけませんので苦労します。それと昨年から

河合さんをお願いしている「つくる作る 創る」は前からほしかったんです。この一本で奥行きが出ますからね。

富田 河合さんのは毎号心待ちしている人が多いみたい…。それにナンペイの「



ひとこと&ふたこと」は人気ありましたね。

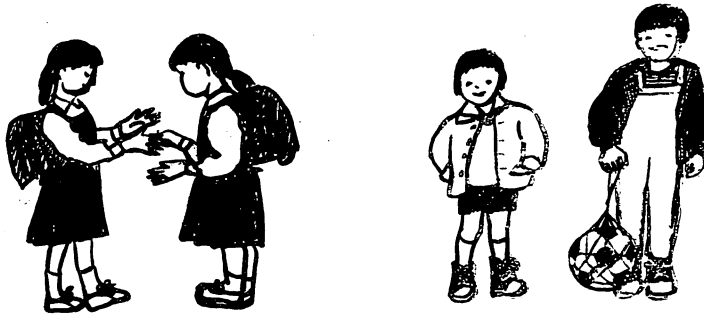
石田 そうや、南光さんそろそろ充電出来てんとちがう。「ひとこと&ふたこと」のあと「ふたこと&みこと」を書いてもらわんと…。待ってる南光ファンは多いですよ。

### 紙面作り

富田 よく、聞かれるのですが、

サロン紙を作る手順といますか、発行までの工程は、どのようになっているのでしようか。読む側からすればなんと不思議で興味津々なのです。

石田 マニュアルなんかありません。その  
ときどきで適当ですが、前々から聞いて  
くる人が多いらしいですな。大雑把  
にいいますと、原稿が集まって来ます。  
ギリギリに速達便より早い宅配便でく



る人もあります。全部集まった時点で  
台割をたてます。要するに原稿の順序  
をきめ、頁数をきめるんです。うちの  
場合七機種前後のワープロで打たれた  
原稿ですからノリとハサミの手作業で  
貼り込みます。すごく原始的ですよ。

そこに製版された写真を貼って完全な  
型でセルフ社へ入稿します。完全版下  
で入稿するんですから、責任は全部ハ  
サロンV。セルフは印刷すれば終り。  
校正ミスがあろうが一切セルフにはお  
とがめなし。セルフ社にとっては天国  
ですよ。井上さんはむずかしい顔して  
はるけど。ことハサロンV紙に関して  
は悪い得意先ではないはずですよ。

富田 それで、出来上がるのはいつですか。

石田 セルフ社からは遅くて第三土曜の午  
前、早ければ金曜に納品されます。出  
来上がったものを封筒につめ、宛名シ  
ールを貼り、行き先別に分類してくれ  
てはるのが富田さんのお母さんですよ  
ね。ほんまにお世話かけます。そして、  
これを郵便局へ発送しに井上さんの奥  
さんが行ってくれるちゅうわけ。

富田 家の人の力に支えられてるところが

大分ありますね。最初のころお金がな  
かったので、製本は石田さんちでして  
ましたね。

石田 二〇〇部くらいのときでした。部屋  
中広げて、そろもう大べんでした。

編集はしんどいもの

富田 先日、ハサロンV紙を売ったミニコミ  
紙編集の方が、素人離れしている紙面  
作りですねと言われて、ちょっと鼻高  
でした。

石田 素人も九筆やれば玄人でっせ。秘密  
なんかあゆみません。見やすい、読みや  
すいのモットーははじめから全然変わ  
っていません。これが自然と紙面作り  
に出るとんちがいますか。

富田 なかには編集後記の短い文の中から  
編集のご苦労を読みとる人もいるん  
です。あ、しんどかったと思っただのは、  
どんな時ですか。

石田 しんどいのは毎度です。物作りにし  
んどさはつきものです。しんどいから  
こそ出来上がったときの、良かった、  
が一入なんとちがいますか。





ってきたと電話がきたんで、またビツクリ。

富田 ウソツ、郵便でもないのに、返送されたんですか？

石田 さあ、それですよ。二人の推理によると、イタズラか悪意か知らんけど郵便受けから失敬した原稿をその辺に捨てた。それを拾った人が上平さんとかへ届けてくれた。

富田 そしたらなんで上平さんの原稿ってわかったのか不思議ですね。

石田 実は原稿を入れた袋は、上平さんところへの来信の封筒をそのまま再利用していたので、住所氏名がわかったというわけ。一〇〇号にもなるととんでもないことがあります。



誇れるハサロンV紙に…

富田 ハサロンV紙は、これまで大阪府社会福祉協議会主催の広報紙コンクールで優秀賞や優良賞を毎年受賞して、内容的にも高い評価を受けているわけですが、この他にもこれだけは声を大にしていえるということがありましたら…。

石田 ハサロンV紙一番の自慢は、ただの一回も休んでへんことです。例会がはじまってる真最中に届くことは何回かありましたが例会のときに必ず手渡せています。これは自慢してええんところがいますか。合併号ありませんし。みんなの力です。大きいですよこの力は。



富田 今、石田さんが言われましたことが、一番の幸せだと思えます。それともう

一つは、ハサロンV紙の朗読テープが、38号より今まで、欠番なくそろっていることです。

これは、朗読ボランティアさんの力が大きいことですので、感謝しています。(朗読テープ開始、昭和63年12月発行ハサロンV紙30号、62号迄阿倍野ボランティア連絡協議会朗読グループ、平成3年9月63号より山本敏子さんお一人で朗読録音)

ハサロン・あべのVはハサロンVの出会いとハサロンV紙を通して、多くの方々との交流を持っています。これからもハサロンV紙の役割は今以上に大きくなっていくと思います。今日はいろいろありがとうございます。した。

石田 真価を問われるのはこれからやな…。暑いのおつかれさまでした。

この対談、まとめるは大へんや…。富田さん頼みますね。

富田 エエッ。わたしがまとめるんですか。

★崩れていくことと形づくっていくこと

高校の卒業旅行で、火山の周辺を歩いたことがある。そのとき、ほとんど垂直に切り立った一つの岩山を見た。

それは、巨大な一個の岩が重力に逆らっている姿だった。雲が岩山の頂上あたりに絶え間なくぶつかっていて、その遙（はる）か下のふもとには敗残



兵のような岩のかたまりが、まだ鋭い割れ目を残したまま、その落ちてきた空の方を睨（にら）むようにして倒れているのだ。

風や雨や熱に対して、この岩山は勝つことのない闘いを続けていた。それでも、岩は誇りをもって、身体を隠すことなくまっすぐに立っている。十代の私は、この岩山と出会うことが、この卒業旅行の目的だったにちがいないと感じていた。

熱力学の法則によれば、すべてのものは崩れていく流れのなかにある。自然はすべてのものを崩していくのだ。山は風や雨によって崩されていく。鉄は錆（さび）がきて、ぼろぼろになる。エジプトのピラミッドも、その表面はすでにかなり崩れている。埋葬された身体が腐敗し、土になっていくのも、こうした流れのなかにあるからだ。

では、なぜ自然は美しくなるのだろう。全てを崩していくのが自然なら、多くの絵具の色を混ぜてしまうと必ず

灰色になるように、自然もまた灰色になるはずではないか。なのに、なぜ赤い花が咲き、深く濃い緑が山々を被うのだろう。

それは、そこに生命（いのち）があるからだ。

いのちは崩れたものを、選びわけ、並びかえ、組み合わせ、整えて、形あるものにしていく。赤ん坊を考えてみよう。あんなに小さな子が、なぜ、大きなオトナになることができるのか。食べて、細かく噛みくだき、それを身体のなかで並び換え、組み合わせ、自分の身体（からだ）に取り入れていく。そうやって、身体は成長する。

心の成長もまた同じことだ。毎日、さまざまな言葉が、私たちの心にとびこんでくる。それを選んで、取り入れて、並びかえて、組み合わせ、私たちは私たちの考えをつくり、育てていく。私たちは私たちがらしさを、自分自身で形づくっているのである。

いのちの輝きは、激しい運動や汗や

興奮にあるとはかぎらない。私はすでに青年ではないから、以前のように長く走ったり、飛び跳ねたりすることはできないが、それでいのちが弱まったとは感じない。

私がいの中の弱まりを思うのは体力や外見の衰えに気づくときではない。そうではなく、たえず、すべてを崩そうとする大きな流れのなかにあって、自分もまた崩れていっていると感じるときだ。たとえば、漫然と時をすごして自分を失いかけているとき、習慣や周囲の動きに流されて、何も判断しないままに日常を過ごしているときである。

やけになって酒を飲み、暴れてみても、それは外見には動きが多く活発に見えても、いのちは弱まっている。悩む人の家をたずねて、ゴミだらけになっている部屋を見れば、その人が、いくら力づくよく話していても、いのちの衰えを感じるときがある。どちらも並べかえ、組み立て、整えるといういのちの働きが弱まり、崩れは始めているのだ。岩山が割れるように、鉄が錆びるように、肉体が腐乱するように、

生活の形は、それ自身の重さのために容易に崩れはじめる。

「サロンあべの」が百号を迎えたが、この機関紙も言葉を並べ、組み立て、整えているという意味で、いのちをもっていると言えるだろう。そのままにしておけば、散り失せ、忘れられてしまふ言葉や気持ちを形にしているのである。

どんないのちも、すべてが崩れていくという自然の法則には逆らえない。

「サロンあべの」の紙も、もちろん必ず終わるときがくる。しかし終わりがきても、無駄だったことにはならない。いのちは、崩れて灰色にかわっていく周辺を土にして、美しい花を生む。このサロン紙は私にとって、そういう生きた花のようなものなのだ。(知)

### お知らせ

サロン・あべの十一月の出会い

日時 十一月十九日(土) 午後二～四時

場所 育徳コミュニティセンター研修室

(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、身障者用トイレ有り

テーマ 「海外旅行のすすめ」

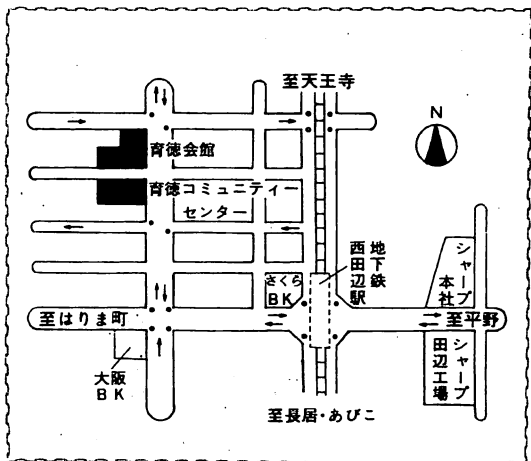
パネラー 中田 治 氏

「アロハセブン(株) 大阪支店」

会費 なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎〇六―六九一―二〇二八(富田慶子)



# 作る つくる 創る

## 河合恵子

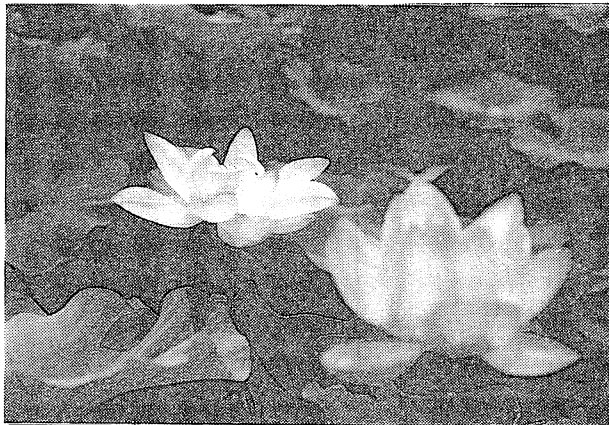
古代の蓮から

夏の終わりに町田市大賀藕絲（ぐうし）館を訪れました。JR町田駅からバスで約二十分の尾根緑道入口で下車。ここから八王子に向かつてかつては戦車道路が、今は桜をはじめ、草花や木の香りの楽しめる遊歩道が丘陵地帯を続いています。近くには桜美林大学、老人センター、リサイクルセンター、市民プールなど。藕絲館は奈良で作られたという瓦をのせたコンクリートの二階建の立派な建物。目黒美術館の紅花染めのワークショップでお世話になったかたをたずねたのですが、蓮田にしていること、バス停近くの谷間の道を下つていくと、紅の花をつけた緑の葉があたりを覆い尽くし、そこで心身障害者のかたとボランティア、職員が蓮を刈っていました。藕絲館で使われる蓮は上野不忍池の蓮と大賀ハスを

譲り受けたもの。大賀ハスは千葉の遺跡から発見された二千年前のハスの実三個のうち一個を故大賀一郎博士が発芽に成功したことでも知られています。ここではこの蓮の茎の繊維を使つて和紙（蓮紙）や糸、果托はドライフラワーや蓮座、実は可愛いお手玉の材料などに用います。特に開花時の茎はボキツと折るとまるでくもの糸のような繊維がとれ、それをまず茎四―五本分を寄り合わせて糸をとり、さらにそれを数本合わせて一本の糸を作るという気の遠くなるような作業・・・短い時間

私も試させていただいたのですが、ゆつたりと穏やかな気分であれば糸はすぐ切れてしまいます。こうして出来上がった糸を藕絲というのですが、天平時代、当麻寺に中将姫が寄進したという仏の国を表す曼陀羅が最古の藕絲織とのこと。そうして作られた糸で織られた布をこんどはこれも種から育て

た紅花で韓紅に染める。この貴重な布はここでは香袋になります。



# 高齢者と在宅介護

13

「井元 真澄」

## 三、脳卒中による要介護高齢者への

### 援助課題(6)

#### 《考察》

今回の研究から、第一に、退院計画の必要性、第二に、リハビリテーションの継続、第三に、サービスの利用・認知、の3点について、考察を行います。

#### (1) 退院計画の必要性

調査の結果より、退院時に不安や問題を抱えている人は約半数にのぼっています。病院から在宅での生活への移行にともない、地域の機関へ連絡や相談をしているかどうかをみると、相談している者は四分の一程度の人にとどまっております、残りの四分の三は、不安を抱えたまま退院し、十分なサービスや支援を

受けることなく在宅の不安定な生活に入っていくものと考えられます。さらに、地域機関への連絡や相談をした人については、ケース数が少ない中での結果ですので限界はありますが、八割が家族、二割が本人によって行われており、病院が行ったケースは、皆無でした。

以上より、退院時に、退院後の在宅生活についての計画をたてることによって、各種サービスの利用も含めて不安や心配を解決し、在宅生活にスムーズに移行できるような体制



が求められているといえます。

また、調査からは病院と地域の機関との連携は見られず、保健・医療・福祉の連携という従来からの課題も具体的に進めていくことが求められます。

#### (2) リハビリテーションの継続

同じく退院時の問題点として、入院時のリハビリテーションを、退院後すぐに継続している者は四割に過ぎず、退院後は全く受けていない者が半数近くもあり、リハビリテーションが退院後途絶えていることが指摘できます。リハビリテーションは日々の継続が重要であり、これが確保できないことが、ねたきり状態を招くことに直接つながっていると予想されます。退院後のリハビリテーションの体制も、退院時に計画することが求められます。

その際に、施設におけるリハビリテーションに対する計画と同時に、在宅で生活するということから、「訓練」というよりは「生活」に主眼をおいた、リハビリテーションのあり方も考える必要があります。

ゴールドプランの「寝たきり老人ゼロ作戦」

では、「脳卒中情報システムの整備」がかか  
げられており、ここでは「退院後に適切なサ  
ービスが円滑に提供されるようにするため、  
脳卒中等で入院した医療機関から保健所を通  
じて住所地の市町村に情報を提供する」とあ

ります。しかしながら、現状では、病院での  
入院生活から家庭での生活へつなぐ作業はほ  
とんどみられず、入院時の生活と退院後の生  
活が分断されているかのようです。医療機関  
が情報を提供し、それをもとに、市町村が個

々の高齢者にとって最適な在宅生活を可能に  
することができるとケア計画を作成し、実施で  
きるような、情報システムの整備を図ること  
が求められると考えられます。



恋は、楽しい

姉ちゃん

おもろい

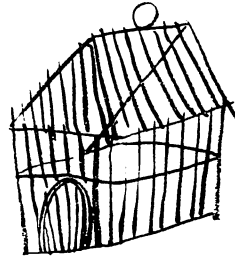
みなさんは、B・F (ボー  
イフレンド)、G・F (ガ  
ルフレンド) がいますか？

寮生さんは、異性大好き派  
と全く興味ナシ派に分かれま

す。その中でも、女性の方が正直な  
のか何なのか、みなさん好みの職員  
や実習生に、果敢にアタックしてい  
るようです。

Mさん(46歳)は特に若く美しい  
男性が大好きで、お尻を触られる被  
害も職員に出ています。

そのMさん、総務課のZさん、24  
歳に目をつけ、優しいZさんに、盆



踊り大会では三曲ほど、チーク(?)  
してもらいました。

時々、総務課に用がある時、彼女  
を連れて行くと、満面の笑顔でZさ  
んの所に行ってしまいます。

そのうれしそうなこと…  
私も素敵なお恋がしたいと思われ  
ます。

田 淵 美登利

感謝します

カンパ、飲料水、お茶、お菓子、冊子等  
々ご寄贈。

絵葉書等、お買い上げありがとうございます。  
ました。お礼を申し上げます。

秋野富美子、大塚一枝、河合恵子、

國井由紀子、窪田新一、小島 崇、

須賀茂登子、田中美智子、土井俊次、

中村美根子、広岡一枝、藤井さゆり、

山田絹代、吉原和郎、 (匿名二名)

○九月のカンパ 金三八、二五〇円



# 美智子のこんな話

岸田美智子

女性職員を募集しています

このサロン紙を読まれているあなたは、また、あなたのまわりの方でグループホームでの生活づくり、作業所での活動を一緒に担っていてくれる方はいませんか？

ライフ・ネットワークの活動は、

- ①施設障害者の個人外出の応援活動
- ②レクリエーションや各種企画を通じて施設障害者の経験を取り戻す
- ③上記の活動を担う専従障害者の生活を支え

え

④また、施設障害者の地域での自立を実現していくために

⑤大阪市の制度を使ってグループホームを目指しています

私たちは、四年前から施設障害者の外出応援活動をボランティアだけで始めました。そして、91年大阪市のミニ授産制度（障害者福祉作業センター）を使って、事務所と専従職員を二名確保（男女各一名）してきました。現在、事務所には、地域の障害者六名が週五日程度通所して右記の活動を行っています。

今回募集しています女性職員の仕事の内容は、

①障害者の活動を支える介護

②生活を支える介護（食事作りや入浴介護その他）

③施設障害者の外出応援にかかわる様々な事務作業や電話掛けなどです。

給与、勤務時間などは面談の上決めたいと思います。交通費は支給いたします。

ぜひぜひ応募下さい。

なお、お申し込みの際は、左記へご連絡をお願いします。

### ●連絡先

ライフネットワーク

大阪市住吉区大領5-10-16

TEL 06-6071-8260

FAX 06-6071-5503



朗読テープのご案内

山本敏子さんのご協力で、サロン・あべの紙九九号の録音テープが出来ました。

バックナンバーは三九号から、九九号の分があります。五〇号は五周年記念紙になっており、九〇分と六〇分の二本のテープに収録されています。

又、絵本「未知の記憶」（作・絵 川中勝彦）の朗読テープもあります。

いずれもご希望の方には、ダビングをします。富田までお申し出下さい。

( ☎ 〇六九一〇二八 )



サロン隣組ニュース

[大阪市東淀川区淡路4-1-6]

☆会費：なし

☆問い合わせ先

TEL06-340-3082 (鈴木)

FAX06-320-4004 (宮脇)

■「サロン淀川」10月の出会い

◎日時 平成6年10月16日(日)

午後1時30分～4時

◎テーマ 『救急法～あなたは、大切な人を救えますか～』

◎講師 日本赤十字 救急水安指導員 河相憲良氏

◎会場 淀川区民センター3階 第1会議室  
[大阪市淀川区十三東1-18-21  
TEL06-304-9120  
阪急十三西口下車徒歩7分国道沿い]

◎問い合わせ先

淀川ボランティア・ビューロー  
TEL・FAX06-306-2900

■第3回「ウイズ・東淀川」の出会い

☆日時：平成6年11月20日(日)

午後2時～4時まで

☆内容：『幼児教育と  
腹話術から学んだ事』

☆講師：境 イツ子 氏  
(元岸和田市立幼稚園教諭)

☆場所：東淀川会館3階  
(エレベータ・鞆子トイレ)

○「ホスピスとは… 生と死を見つめて」

「ウイズ・東淀川」9月の出会い

平成6年9月25日(日)午後2時～4時、東淀川会館において、「ウイズ・東淀川」の9月の出会いは、淀川キリスト病院伝導部の牧師・藤井理恵氏に「ホスピスとは… 生と死を見つめて」と題して、ホスピスケアについて話を伺いました。

「ホスピスとは死に場所ではなく、生き場所」であり、その人の人生が完成される場所。その総まとめをチームで支えていくのが、ホスピスケア。

ホスピスケアには七つの要素がある。

1. 症状のコントロール
2. 十分なコミュニケーション
3. その人らしさの尊重
4. 魂のケア
5. 家族のケア
6. チームのアプローチ
7. 環境の整備

この七つの要素を十分満たすことによって、その人らしさが出てくるものである。

(講演記録を借りて富田が要約)

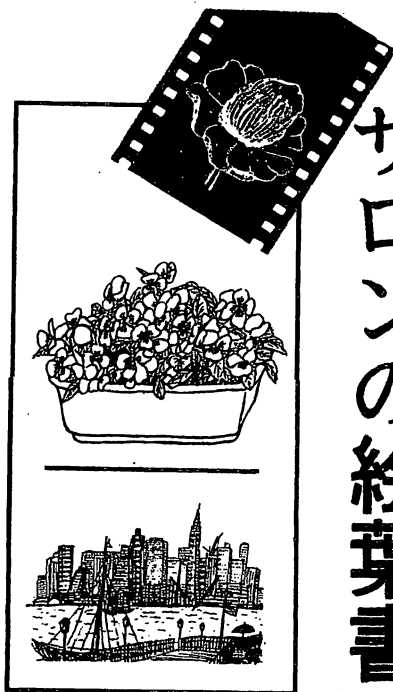
FROM EDITOR

編集後記

なにせ100号なんだから、しよう。表題も連載の見出しやレイアウトも新しくしよう。中味も百人一語と対談・うちの話の2本を記念特集の柱にしよう。表紙は別の紙にしよう。切日も早くしよう。あれも、これもしようと思う。が、しようからするへ希望を現実の100号にしてくださったのは皆さま一人ひとりの力であることを、只々感謝。(石)



# サロンの絵葉書



好評の一筆箋に続いて、絵はがき二種類がサロングッズに加まりました。

四季の草花をやさしいタッチで描いている「花シリーズ」と、いつかはその街角にたずねてみたい、そんな懐かしさを感じさせてくれる「街並みシリーズ」です。

その二種類とも、送り手の気持ちが素直に伝わり、字列が映えるデザインと抑えた色づかいが爽やかです。

「花シリーズ」「街並みシリーズ」ともに、五枚一組で一五〇円です。

これは便利



## サロンの一筆箋

贈りものをする時や、本や写真を送る時などにひと言添えたい場合、便利なのがこの一筆箋です。1冊150円。

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.100[ '94.10.15 発行] 定価¥300.

代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 表紙画・文中イラスト；石田美禰子

印刷；セルフ社〒545 大阪市阿倍野区西田辺町2-2-10-101 電話06-691-2365